

金光学園

# やっなみ

2019.7



254号



# 高校入学式

# 中学入学式



# 中学ゆずり葉の会



平成30年度の「中学ゆずり葉の会」が義務教育  
 修了式後に、ほつま体育館で行われました。  
 1年生は、元気な「U・S・A」のダンスから始  
 まり、美しい合唱と呼びかけで感謝の思いを伝え  
 ました。  
 2年生は、息の合った「3年A組」のダンスから  
 始まり、中3学年団や金光学園に関するクイズを  
 行つて、意外な答で会場全体を盛り上げました。  
 最後の合唱と呼びかけでは、先輩への感謝と共に、  
 次の最高学年は自分たちであるという決意を表し  
 ました。

そして、いよいよ3年生の出し物です。実行委員会は1月から動き始めま  
 した。出し物のテーマは「万歳千唱」です。何事にも明るく前向きに取り組  
 むこの学年らしく、感謝と喜びの気持ちを表し最後は「万歳」で締めくく  
 りたい、この学年の団結力を見せたいという思いで、実行委員に多くが立候補  
 して打ち合わせを重ねました。

本格的な練習が始まったのは2月です。実行委員は昼休みや放課後に何  
 度も集まってアイデアを練り、内容を綿密に考えました。その内容をク  
 ラス代表の実行委員から広げていき、一つ一つ丁寧に行っていました。  
 日中だけではなく、放課後のパトロールなどの練習も実行委員主体で行つていき、  
 本番が迫るにつれて18人全員の熱気が盛り上がっていました。

本番はオープニングPVによる演出から始まりました。PV作成はとても  
 時間がかかりましたが、実行委員の思いが詰まった、この後の出し物を期待  
 させるPVになりました。ワクワクする在校生・保護者の気持ちが高まる中、  
 リコーダーとコントラバスでの「歓喜の歌」(第九)の演奏が静かに始まりま  
 す。フラッシュモブを意識した「歓喜の歌」は、徐々に演奏する楽器が増え

ていき、実行委員による合唱、全体合唱で迫力ある演奏に。合唱はドイツ語  
 で行い、本格的なものを目指しました。  
 再び静かな会場に構成詩の音が響き、全体合唱。「今咲き誇る花たちよ」  
 を美しく見事なハーモニーで歌い上げました。その後、団結力を示す構成詩  
 に続いて、有志によるダンスパフォーマンス。テンポの違う曲をそれぞれ表  
 現し、会場を盛り上げます。

ここからが、この学年のメインの出し物ともいえる、集団演技。最初はグ  
 ループごとの練習がまもなく苦戦しましたが、他グループに刺激を受け合  
 いながらぎりぎりまで練習や試行錯誤を重ね、完成させました。まずは男  
 子とダンス部によるボディーパーカッション。それぞれが違うリズムを刻み、  
 調和し、かつよくポーズが決まりました。次はひな壇上で「マリオ」の曲に  
 合わせた集団演技。段差を利用しながら息の合った演技をコミカルに表現し  
 ます。最後は「万歳千唱」の横断幕も登場しました。続いてひな壇には「学  
 園天国」のグループが登場。まさに息ぴったりで、在校生・保護者からも「お  
 お」と歓声が上がりました。ラストは「情熱大陸」の曲に合わせて全員が登  
 場し、手観音風の振り付けとウエーブで締めくくりました。

最後はピアノによる「サザンカ」のBGMが流れる中、構成詩で3年間の  
 成長や感謝を伝えました。途中、サブライズとして、生徒から中3学年団へ  
 の感謝のメッセージが感動的に一時におもしろ  
 く伝えられました。全体合唱は「正解」。合  
 唱曲としては長めの曲ですが、ソロパートやP  
 Vなど見どころがたくさんあり感動のムードが  
 会場を包みこみます。PVは幼い頃の写真と現  
 在を比較するもので、実行委員が1枚1枚写真  
 を撮って、加工し丁寧に作成しました。合唱は  
 男女3パートという舞台を組み合いましたが熱唱  
 し、30分という舞台を締めくくりました。  
 中学3年間の学びの集大成として、そして高  
 校スタートに向けての決意を感じられた出し物  
 となりました。



## 感謝・広がり

今までPTA活動とは縁遠かった私が、我が子の入学をきっかけに、保  
 護者会役員として様々な行事に関わる事になるうとは、少しも思っており  
 ませんでした。

最初から分からない事ばかりだったので、先ずは極力諸行事に参加し、  
 皆様と共に活動するように心掛けておりました。その中で特に「ほつま祭」  
 で、一つの目標に向かい保護者の方々と共に考え、汗をかかせて頂きまし  
 た事は、私にとつてとても貴重な経験となりました。

「難が無いのは無難な人生。難が有って『有難う』になる」と申しますが、  
 「ほつま祭」の準備・当日での活動を通して、難が有るからこそ人の有難み、  
 成し遂げた時の達成感や感動が得られるという事。そして、諸先生、保護  
 者の皆様、先輩役員方々のご活躍によって、やつなみ保護者会が成り立っ  
 ていることを、今更ながら痛感させられました。

「どんな状況であっても、この世に当たり前の事など何一つ無く、全てが  
 とても有難いものである」という事を意識して、何事にも感謝しながら、  
 今後も活動して参りたいと思います。

今年も娘も入学させて頂き、役員活動も二年目を迎えます。ここからまた、  
 気持ちを新たに【広げる】よりも【広がる】活動を、皆さんと【一緒に出  
 来れば】と思っております。

「ただだねばならぬ 子もちはははも」

(金光学園やつなみ保護者会副会長)

## 丸本 栄作

### 目次

巻頭言	1
金光学園 中学・高等学校入学式 道(24)	2
学園生の故郷	14
活躍する卒業生 芝伏 敏宏	16
やつなみ保護者会のページ	18
会長就任挨拶	20
友愛セーブルご協力をお願い 会報	21
やつなみ保護者会地区会	22
メタセコイヤ	23
活躍おめでとう	24
自画像	25
イギリス短期語学研修	26
オーストラリア姉妹校交流プログラム	27
芸術鑑賞会	30
中学生になって	34
中1新入生歓迎会	37
中1入学時合宿	40
中3沖繩修学旅行	42
中2山の学習	45
ある日のホームルーム	49
平成31年度大学入試結果	52
高3入権講演	53
オーブンスクール	54
法人決算の概要	56
生徒会活動	58
学園だより	62
教室の窓から	67
編集後記	70

# 金光学園

# 中学・高等学校 入学式

4月8日、入学式が挙行された。中学は午前9時から141名が、高校は午後1時30分から200名が、来賓・保護者・教職員の祝福を受けて新たな出発をした。

校長式辞の後、中学は金光圭土君が高校は佐藤弘汰君がそれぞれ「願いの言葉」を力強く述べた。続いて学校法人理事長の挨拶、来賓を代表して中学は金光教務総長 西川良典氏、高校は金光教務総長 西川良典氏のご代理 財務部長 山下輝信氏の祝辞があり、次に、保護者を代表して中学は中村徳秀氏、高校は難波龍也氏の挨拶があった。終わりに、中学は生徒会事務局と音楽部による学園歌紹介、高校は学園歌斉唱で式の最後が締めくくられた。

## 式辞

校長 金光 道晴



3月末には東京や九州の桜は満開になったと報じられていましたが、ここ金光町では今日の皆さんの入学式を祝うために、待っていてくれたかのように、今満開を迎えています。このうらかな桜満開の今日の良き日に新入生の皆さんを迎え、このように麗しく入学式を挙行できますことは大変嬉しく有り難いこと

あります。ご来賓の皆様には公私ともご多用の中、金光教務総長様をはじめ金光教関係の皆様には昨日まで大祭を任せられ、やつなみ保護者会の役員の皆様にも、年度初めの大変お忙しい中を、お練り合わせてご臨席を賜り誠にありがとうございます。

保護者の皆様には本日は誠にありがとうございます。保護者の皆様には入学式後の説明会で改めてご挨拶をさせていただきます。

さて141名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは、平成も残すところあと3週間余りとなった正に平成最後の入学生として、この金光学園に入学されたのでありますが、同時に新たな令和元年の中学1年生としての、学園生活のスタートを切るわけであり

ます。今新入生の皆さんはこれから始まる6年間の学園生活に大きな期待や夢を抱いていることと思います。私達もそのような皆さんの入学を心から歓迎し、皆さんのここからの成長を、保護者の方と共に協力して、しっかりと応援し、支援していきたいと思っております。

ところで、皆さんにとって3月3日と3月24日の日曜日に行ったスクーリングはどうでしたか。金光学園では新入生の皆さんがより良いスタートが切れるよう、また少しでも学校に慣れていただきたいということで、入学前にスクーリングを実施していますが、少しは不安や心配な面は解消されたでしょうか。

これからの学園中学での生活では、今までの小学校の時とは、違った所が沢山あります。例えば通学です。学校の近くから歩いて通学できる人もいますが、多くの人は電車やバスや自転車を使っている通学になり、慣れるまでは大変だと思います。友達についても、スクーリングなどで既に友達もできた人もいるかもしれませんが、同じ小学校から入学した人もいないかもしれませんが、ほとんどの人は初めて出会う新しい友達だと思います。

授業も小学校のように、担任の先生がほとんどの授業を教えるというのではなく、中学では、英語や数学や国語などそれぞれの教科の専門の先生によって授業が行われますので、多くの先生の授業を受けることとなります。新しい友達や色々な先生との出会いも、楽しみにしてほしいと思います。

また、中学校では部活動があります。学園では沢山の文化部や運動部が活発に活動しています。もう既にどの部に入るかを決め、楽しみにしている人もいるかもしれませんが、色々な部への体験入部ができる「1日入部」は再来週の24日・25日に予定しています。正式な入部は学校生活に慣れた、ゴールデンウィークの後ということになると思いますが、楽しみにしておいて下さい。

行事もたくさんあります。今月で言えば、さつそく来週末には一泊二日の入校時合宿も計画されています。再来週予定されている生徒会主催の新入生歓迎会では、中2や中3の先輩の生徒達が、新入生の皆さんを歓迎し、学校紹介や部活動紹介などもあり、楽しい行事となっています。色々なことに早く慣れて、有意義な学園生活

を送ってほしいと思います。

また、金光学園はグローバル教育を積極的に進めているところですが、昨年度一年間で、外国へ行き、しかも現地家庭にホームステイした生徒は200名を超え、一方海外から本校にやってきた外国人の生徒や先生は140名を超えています。皆さんもこれからの学園生活の中で、外国の人と接したり、交流したりする機会が度々できてくると思います。3年後、皆さんの中3の3学期には、全員がオーストラリアの西海岸のパスという所で海外研修をすることを計画しています。それに向けて、英語の勉強なども中1からしっかりと取り組んで行ってほしいと思っております。

慣れるまでは少し大変なこともあるかと思いますが、楽しいことやチャレンジできることが一杯ありますから、早く学校に慣れ、新しい友達をつくり、しっかりと勉強や部活動に取り組んでほしいと思います。そして様々な体験を通して、これからの中学・高校の6年間で大きく成長していただきたいと思います。

共々頑張ってください。ところで、この入学式後のホーム

ルームで、皆さんには金光教の教祖様のみ教えが書かれている、このような日めくりを記念としてお渡ししますが、今日の8日の日めくりには、「食物はみな人の命のために天地の神のつくりあたえ給うものぞ」という言葉が書かれています。この言葉には「何を飲むにも食べるにも有難くいただく心を忘れなよ」という言葉が続くのですが、食前訓といって金光学園では食事の前に唱える言葉でもあります。皆さんも今後クラスで一緒にお弁当を食べる時や、入校時合宿の食事の時には唱えることとなります。毎日の生活の中では、あたりまえで何でもないと思っている食事がいただけることや水が飲めることにも感謝の気持ちを忘れてはいけないと教えられています。「そして「食べ物や飲み物は人の命を育んでいるもので、神様から与えられた天地の恵みであり大切なもの」であることが示されています。

明日の9日の日めくりには、「人の身が大事か わが身が大事か 人もわが身もみな人」という言葉が書いてあります。「人の身もわが身もみな同じ尊い人間で、かけがえのないもの」であること、その



ような精神が元になってきたのが金光学園の合言葉「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」なのであります。皆さんは入学前から何度か、この合言葉を見たり聞いたりしてきたと思います。学園の全ての教室には、これと同じものが掲げられていますし、正面玄関前の石碑にも刻まれています。

合言葉とはどんな言葉をいうのでしょうか。合言葉とは仲間同士の主張を端的に表わす行動の目標や指針となる標語・スクールモットーと言ってもいいと思います。したがって、生徒の皆さんにだけ守ってもらおうというものではありません。生徒も保護者の方も私たち教職員も卒業生も全ての金光学園に関係する人、つまり仲間が行動の目標や目当てとするもので、みんなで努力しあっているこ



うという願いなのであります。私は、この合言葉こそ、いじめや差別はもとより、民族紛争や、国と国との対立、環境問題など、今日世界人類が抱えている全ての問題を解決するキーワードだと思っています。新入生の皆さんには、これから卒業するまでに、何回も耳にするでしょうが、どうぞこれから6年間かけて合言葉の中身をしっかりと身につけていただきたいと思っています。また改めてしっかりと刻んで、全てを大切にしよう毎日一生懸命努力していただきたいと思っています。

そして、人を大切に出来る人・自分を大切に出来る人・物を大切に出来る人、つまり合言葉を実践できる人になっていただきたいと願っております。

終わりにもう一度合言葉を申して式辞といたします。「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」

## 法人理事長挨拶

佐藤 乃武雄



厳冬より、待ちわびた暖かき春も、ようやくとして桜前線満開の麗しきご時節到来となり、金光学園中学校、入学式を祝賀するが如く、金光町桜並木鮮やかに満開となりました。

そして、間もなく新緑の候となり、新しき生命が蘇る絶好のご時節をお迎えする事となります。

このような新鮮な天地の大み恵の中に、この度、見事に私立金光学園中学校入学試験に合格されました生徒の皆様方には、誠におめでとうございます。

今日まで育てて来られました、近隣各地の小学校の校長先生方を始め、保護者の皆様方には、合わせて心よりご祝辞と

お慶びを申し上げます。殊に、ご来賓の皆様方には、常よりお変わりなき温かきご理解とご支援を賜り誠に有難うございます。

さて、先の教主、四代金光様は「父母も子供と共に生まれたり、育たねばならぬ子も父母も」と、仰せになっておられます。僭越ながら詠わせてもらいます。「父母も子供と共に生まれたり育たねばならぬ子も父母も」と詠われましたが、ただ今からは、親も子も心機一転、共に折り合い、共に育ち合う関係として生まれ変わり、親子の絆を堅持し、やがて、大願とある大学進学の大願が見事に実現されますよう切に御祈念申し上げます。

ご来賓の皆様方、ご父兄の皆様には益々のご健勝とご繁栄を祈り上げて入学式のご挨拶とさせていただきます。

## 私達の願い

中学新入生代表 金光 圭士

冬の寒さ乗り越えた桜が満開となつて咲き誇る今日、私達新入生14名は、金光学園中学校の入学式を迎えることができました。



自分達の夢。そして両親をはじめ多くの人の支えがあつて、伝統ある金光学園中学校に入学できたことを大変うれしく誇りに思っています。

これから始まる中学校生活には大きな期待と不安もありますが、先生方や先輩方のご指導を頂き、友達と友情を深め、力を合わせて、勉強や部活動、ほつま祭などの学校行事も頑張っていきたいです。

そして、金光学園の合言葉である「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」をいつも心に留め、お世話になる全ての人や物に感謝する心を忘れず、立派な学園生になれるように頑張ります。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、多くの先生方、そして先輩の皆様、分らないことだらけの私達ですが、どうか温かくご指導くださいますよう、よろしくお願いいたします。

本日は、私達新入生のために、このような素晴らしい入学式を行っていただき、本当にありがとうございました。

## 中1保護者代表挨拶

中村 徳秀



錚々たる方々がおられるであろう中、僥倖ながら保護者代表としての挨拶を務めさせていただきます。中村徳秀と申します。

先ほどは理事長先生ならびに校長先生、多くの学園関係者の方々のお力添えをいただき、素晴らしい入学式が執り行われたことに、新入生44名の保護者を代表し、深く御礼申し上げます。ありがとうございます。

私は卒業生という立場でもあるので、新入生のみなさん、保護者の皆さんの今後の充実した学園生活をイメージする上で参考になればと思います、簡単ではございますが、金光学園での学びや関わりの中で得られたこと、培ったことを盛り込みながらご挨拶とさせていただきます。私と私の妻は今から25年前、平成6年4月。金光学園創立百年の記念すべき年に入学いたしました。当時、校長先生に「にちがさがら」の気持ちを大切に「あいやかけよ」の精神で充実した学園生活を送ってくださいとのメッセージを頂戴し、期待に胸膨らまし、新入生の皆様の、今まさにこの瞬間と同じようにワクワクと少しの不安が入り混じった気持ち



であったことが昨日の事に思い出されます。本年は「令和」という新時代が始まり、来年には東京オリンピックが開催されるという日本国にとって特別な時です。わが母校金光学園にとっても、当時から創立100年の年は特別な一年でした。ほ



つま記念ホールが完成し、中高合同での体育会。野外ステージが特別に組まれたほつま祭。平山郁夫画伯が御来校された記念講演等。今思えば色々な体験、経験に恵まれた一年であったのだとしみじみ思う次第です。

私はそのような年に入学し、そして、わが娘が新時代の幕開け、創立125年という一つの節目の年に、母校の門をくぐってくれ、幸せを感じずにはいられません。今回入学する長女は、ほつま祭、オープンスクール、私と妻が所属していた野球部の応援などを通じて、肌で金光学園の良さを感じ、複数の選択肢がある中で、自らの意思で金光学園受験を決意してくれました。

新入生のみなさんほどのような理由で金光学園を選び、今この場所にいらっしやるのでしょうか。私と妻にとつては、親族や身近な人が誰も通ったことのない、金光学園への進学はまさに「挑戦」でした。今まで慣れ親しんだ小学校の仲間の多くと別れ、違う町へ通学する。12歳のみなさんにとって大きな決断だったと思います。でも、だからこそ得られるものが金光学園にはたくさんあります。

様々な考え方、価値観を持った子。いろんな特技をもった子。勉強がとても得意な子。スポーツが得意な子。芸術が得意な子。まさにキャラクターの宝庫であることは、今の時代もきつと変わらなはずです。そういった、みなさんそれぞれが持つ「個性」を傷つけることなく、本当に大切にしてくれるのが金光学園の良さであり素晴らしさです。そして何よりも、生徒自身の「自主性」に任せてもらえるという風土があります。これは100年以上の間、先輩方が作り上げ、積み上げてこられた良き伝統です。自分らしい充実した人生を送るためには「夢」をもつことが大事だと私は考えます。十代の6年間でじっくりと、勉強、部活動、行事、その他の様々な活動を通じて、自分にとって、大好きで得意なことを見つけられるヒントが学園生活にはたくさんあると感じます。それともう一つ。この学校には何ものにも変えがたい「家族のようなあなたかさ」があります。先生方、先輩方は愛情をもってあなたたちを導いてくださいます。形は無いものの、学園生活6年間で得られることは間違いなく一生の宝物です。

そして保護者の皆様。私は小さな会社を経営する事業主ですが、昨今の日本は豊かではあるものの、成熟した社会であるがゆえの厳しい競争環境であることを実感しております。それぞれの日常生活やお仕事が決して順風満帆な方々ばかりでは無いと思います。他ならぬわが母校金光学園におきましても厳しい競争環境において状況は楽観視できるものではないことは想像に難くないことではないでしょうか。ただ、これからの未来へ大きな希望を描こうとするならば、ケネディ元米大統領の「国家が国民に何ができるかではなく国民が国家に何ができるか問うて欲しい」という言葉にあるように、学園に何かをしてもらおうと考えるよりも、自らが何ができるかという主体的な発想が重要になってくるのではなからうかと考えます。わが子の明るい未来を実現するために、今この瞬間から縁あつとともに集う仲間としてチームワークをもち、先生方やわが子生徒たちの最大の応援者になりませんか。新入生全員が希望に満ち溢れた明るい未来を切り開くためにも最大限の援助を共に頑張つて参りたいと思います。



## 願いの言葉

高校新入生代表 佐藤 弘汰

どこからともなく薫る春の息吹に、新たな「始まり」を感じるこの良き日、新入生200名は、晴れて金光学園高等学校での第一歩を踏み出し、盛大な入学式を挙行していただいたことに心から感謝いたします。

私は、中学3年間でいくつもの壁にぶつかってきました。勉強、部活での仲間とのすれ違い、学校行事におけるクラスとの人間関係、その壁にあたる度に仲間と共に悩み、ともに乗り越えてきました。それはここにいる新入生みんながそうだと思います。

中学最後の全体行事であるゆずり葉の会では、クラスを越え、学年全体で取り組むため今までになく不安も感じました。しかし、仲間たちも気持ちをぶつけ合うことよって3年間の集大成ともいえる会となりました。この時、仲間との絆を感じるとともに素晴らしいものを創り上げることができ、この上ない達成感を感じました。

それだけでなく、人生には幾度となく

最後に、このような貴重な場に推薦いただいた、お世話になった多くの先生方へ重ねて深く感謝いたします。6年間どうぞよろしくお願い申し上げます。以上をもって、保護者代表の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

「壁」が訪れ、それを乗り越えることで、理想とする自分に近づいていくのだと思います。その高い壁は一人で乗り越えることができなければ、仲間と乗り越えられる。金光学園ではそれができる場所だと信じています。



私たちは今、期待と不安が入り混じる中、これからの高校3年間を新入生みんなの力で充実したものになりたいと思っています。「一日も無駄にすることなく、生きていることの大切さを考え、行動できる人間」を目指し、精進していきたいと思えます。

校長先生をはじめ、諸先生方、そして両親にはこれからも厳しく、そして、温かく、私たちをご指導下さいますようお願い申し上げます。お願いの言葉とさせていただきます。

## 高1保護者代表挨拶

難波 龍也



平成31年度金光学園高校入学式という新たなスタートにあたり、保護者代表と

して、高いところからではございますが、ご挨拶をさせていただきます。

まず、金光学園の先生方には、このような立派な入学式を開催して頂いたこと、ご来賓の皆様方におかれましては、本日はご多忙の中、私達の子供達への祝福に駆けつけて下さったことに心からの感謝を申し上げます。

そして、新1年生200名とその保護者の皆様、本日は高校入学、まことにおめでとうございます。

義務教育を終えたばかりですが、この200名は、民法が改正される年に卒業を迎えます。学校を卒業するとその4月には、全員が法的には成人となるわけです。

私達保護者は、大切な我が子が青年へと変わる、人生で最も重要な時期の一つであるこの3年をここで過ごす決断を致しました。

ここで、高校の役割とは何なのか、改めて考えてみました。

これまででは、大学入学のための予備校的な役割を期待している風潮があったと思います。大学入試で多くの生徒が志望校合格を勝ち取ることが重要で、それが良い学校の指標であり、これをもとにし

た学校ランキングがあるほどです。

しかし、大学入学のための学力を習得するという目的のみならば、学校活動は非効率的で無駄が多いと言わなければなりません。体育祭・文化祭や修学旅行、部活動などは、無駄で必要がないことになりませんが、ほとんどの学校でこういった活動が行われています。

私の経験上、東大や京大など有名大学出身でも、偏差値でしか人を評価できず、周りから「頭は良いんだろうけど……」と言われていて人を何人も知っていません。一方で、無名の大学出身でも有名大学出身の人より優秀な人を何人も知っています。

来年からの大学入試改革では、偏差値至上主義の反省から、生徒一人一人の活動を評価する方向にあると聞いています。

話は変わりますが、世界企業の時価総額ランキングについて紹介します。

30年ほど前、日本がバブル絶頂期の平成元年には、上位10社の中にNTTや銀行など7社も日本企業が入っていました。なんと上位30社中、21社が日本企業と日本の独壇場と言っている状況です。



た。

それが、今年1月のランキングでは、上位30社の中に日本企業は1社も入っていません。あのトヨタが辛うじて42位です。さらに、上位10社の企業のうち、Amazon・GoogleやFacebookなど半分

以上の企業が、平成元年には影も形もないか、少数の仲間で始めた小さいベンチャー企業でした。30年前に上位に入っていた日本企業のうち、今ではその存在すらなくなっている会社もあります。

産業革命以来で、後の歴史教科書に出てくるはずの、デジタル革命・人工知能革命による世の中の変化には凄まじいものがあり、厳しく大変な時代だと思えます。

このような時代に進むべき道について、受験勉強は答えを出してくれません。学校の授業でも教えてくれません。

AppleやMicrosoftの創業者も普通の高校生だった時期はあります。自分の好きな専門分野を見つけ、その分野に精通した仲間達と出会い、皆で協力・工夫して一つのモノやサービスを創り上げた結果、運良く世界的な企業へと発展したのです。

ですから、我が子には、勉強はもちろんのこと、学校での様々な活動を通して、勉強以外の何かに打ち込むこと、異なる考えを持つ仲間・先輩・後輩と合意形成を図り、共通の目標に向かい、時には達成感を時には挫折をといった経験・体験

を積むことが、こんな時代だからこそ余計に大切なことだと、私達は実感しています。

ただ、先程言った世界的企業の創業メンバーの多くは、アメリカの有名大学出身という事実から、受験勉強も大切だということは、念押ししておきます。

最後に、いじめなどにより自殺をするという痛ましいニュースもしばしば耳にします。

私はそういった際に、加害者が悪い、学校が悪い、教育委員会が悪いとバッシングのオンパレードとなることに違和感を覚えています。幾ら他人を責めたところで、大切な我が子はもう戻ってきません。同じ屋根の下で暮らす親が、家族が、我が子が自殺まで考えるほど思い悩んでいるのに、環境を変えてやるなど、思い留まらせる道・方法がなかったのか……と。

もちろん、学校生活の中で他者との関係で悩むことがあった場合、先生方と情報を共有して、問題解決を図ることが第一ですが、教育上、一人だけ特別扱いをする、それを継続することには限界があるのではと想像します。

ましてや、今やSNSなどの発達により、子供達を取り巻く環境は複雑高度になり、全てを詳細に把握することは困難になっていきます。

ついでには、この場をお借りして、教育・成長の場としてこの金光学園を選び、我が子の3年間で先生方にお預けする訳ですが、決して学校に丸投げするようなこととはいたしません。

まずは、一般社会でも直面するであろう問題に対して、我が子が自ら解決することを第一に、私達がしっかりと見守り、最後の安全弁・逃げ道は、親である私達が確保すること、その努力をすることをお約束して、新入生200名全員が、無事卒業し、立派な成人へ向けて、少しでも成長できるように先生方のご支援とご指導を頂けるようお願い申し上げます。保護者代表の挨拶と致します。





# 道

(24)

金光 道晴

## 「東京オリンピック・パラリンピックに思う」

アジアで初の東京オリンピックが開催されたのは、昭和39(1964)年で、開会式が行われた10月10日はオリンピックを記念して、体育の日として祝日と定められました。(現在体育の日は10月の第2月曜日)東京オリンピックが開催されたのは、私が小学生の時でしたが、子供心に日本中がオリンピックムードで一色になったのを覚えています。男子体操・女子バレー・柔道・重量挙げなどの金メダル獲得に、テレビにかじりついて大声援を送りましたが、まさか一生のうち2度も東京オリンピックを経験できるとは思っていませんでした。開催までいよいよ1年になり、諸準備も着々と進められ、選手の選考も熱を帯び、日に日に期待や楽しみが膨らんできています。

一方パラリンピックは、オリンピックの後に続いて開催されていますが、実は、初めてパラリンピックが開催されたのは1964年の東京大会からであります。毎年高3の人権教育講演にお出でいただいている元岡山盲学校の竹内昌彦先生が、その東京パラリンピックの盲人卓球の部に出場され金メダルに輝いたという話はよく知られています。

5年前の創立120年の記念式で記念講演をしていただいた佐藤真海さん(現在は結婚されて谷真海さん)のことも知っている人は多いと思いますが、彼女はアテネ・北京・ロンドン

して頑張っています。一昨年は世界ランキング25位まで落としてしまい、出場は厳しい位置にいましたが、昨年、今年と国際大会で少しずつランキングを上げ、6月現在で14位になり、出場ギリギリのライン上にいます。現在地元玉島や、卒業大学で現勤務先の山陽学園大学、そして母校金光学園の関係者によって、彼の「東京パラリンピック出場」を応援しようという声があがり、今年になって「後援会」が立ち上げられ、支援活動がスタートしました。昨年に続いて今年も世界各地の国際大会に積極的に参加し、世界ランキングを上げるべく頑張っております。今も金光学園の小体育館で来年の東京パラ大会出場を目指して、一生懸命練習に励んでいます。どうぞ一人でも多くの方に応援していただけたらと思います。

話は変わりますが、「金光学園の卒業生にオリンピック選手がいた」ことが1か月ほど前にわかり、びっくりしました。「原田武一さん(1899～1978)」という1917(大正6)年卒業の方で、1924年のパリオリンピックのテニスでベスト8になっていたのです。創立60年の記念誌に、ご本人が文章を残しておられ、デビス杯には5回出場し、世界ランキング3位になったことなどが書かれていましたが、オリンピックの出場ことは書かれてありませんでした。10万人を超える人々が亡くなられた関東大震災の翌年がパリ五輪でした。NHK大河ドラマ「いだてん〜東京オリムピック噺〜」では今(6月)ちょうどそのころのオリンピック噺を取り上げています。視聴率は高くないようですが、私は毎週楽しみに見えています。そのパリ五輪では日本選手団はわずか17人だったそうですが、その一人が原田武一さんだったの

と3大会のパラリンピックに出場した走り幅跳びの選手でした。20歳の時に骨肉腫のため右足を切断し、3大会とも義足をつけての出場でした。現在彼女はトライアスロンで、来年の東京パラリンピックの出場を目指しています。

ところで、今回の東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まったのは6年前の事ですが、ブエノスアイレスでIOCのロケ会長によって「トウキョウ」と発表され、日本中が歓喜に包まれた瞬間を覚えている人は多いと思います。彼女は日本のプレゼンターとして登場し「私にとって大切なものは失われたものではなく、今持っているものだ」とスピーチし、世界の人々に感動を与えました。その佐藤真海さんの話を聞いて、自分もパラリンピックに出場したいと思うようになった、足に障害を持ちながら卓球選手として頑張っていた高3の生徒がいました。井上全悠君という生徒です。井上君は6年前の創立119年の記念式で、生徒代表としてその所願表明を行いました。それがきっかけで佐藤真海さんと呼ぶことになったのであります。彼は全校生徒を前にして「自分は3年後のリオデジャネイロのパラリンピックに出場し7年後の東京オリンピックでは金メダルを取りたい。そのようなことは無理と思われるかもしれませんが、目指さなければ達成することはできません。私は目標に向かって挑戦し続けたいと思います」と力強く話しました。彼は生後8か月の時、交通事故に遭い、両足に障害が残り、普通の人のように歩いたり、走ったりすることが出来なくなっていました。残念ながらリオのパラリンピックには出場できませんでしたが、今、東京パラリンピックを目指

であります。原田さんは現役を終えてからは、郷里の岡山に帰り、教育委員長や企業の重役などを勤めるなど地域の発展に大きな貢献をされたと伝えられています。6月には倉敷物語館で特別展示が行われたので、私も行ってきましたが、改めてすごい先輩がいたのだと嬉し気持ちになりました。その原田武一さんが前述した創立60年の記念誌(昭和29年)に書かれている言葉の一部を紹介します。「……スポーツの神髄とは『勝つておごらず、負けてねたまず、悔いせず、常に明るく果敢に』の精神はそのまま一般社会に処す処世訓であると考えている。……テニスマンとして座右の銘として大切にしてきたCONで始まる4つの大切な言葉として、第1にConfidence(自信) 〓コートにあつては常に自信を持って戦う事、百万の敵来れどもわれ向かわんの気概。第2にCondition(情欲損生) 〓常にベストコンディションにおいて戦えるように平素の摂生が必要。第3にControl(調整) 〓敵に対して時には強く、時には弱く、制球術が大切。第4にCombination(結束) 〓自分一人でプレーしてはいけない。パートナーを常に生かす事である、以上4つの言葉をテニスだけでなく実社会に活用してこそ、真のスポーツの意義があるものと信ずる。人生はスポーツなり」と述べられています。改めて原田武一さんが世界のトップアスリートとして、テニスを通じて大切にされたことを学ばせていただいたようなことであります。

いよいよ1年後に迎える東京オリンピック・パラリンピックへの思いを巡らせ、期待に胸を膨らませている今日この頃であります。

# 「ここから通っています」 学園生の故郷

## 笠岡市

「笠岡」という地名は、昔奈良時代に小田郡付近の四郷に属した笠国(かさのくに)が地名の名残だという説、神功皇后お立ち寄りの伝説がある「笠目山」由来の説、古く備中国で勢力を持った笠臣市に所縁がある地であることを由来する説などがあります。さらに古くは2〜3億年前より生息するカブトガニの生息地でもあり、古墳時代には70近くの大小の古墳や塚が作られ残されており歴史があるまちです。

「御獄山(みたけさん)」「応神山(おうじんやま)」をはじめとする笠岡の十名山、日本遺産登録が先日決まった笠岡諸島を類する瀬戸内海の海島。山と海に囲まれ、北は肥沃な内園地帯と、南は旧小田縣庁舎を門構えとする笠岡小学校、笠岡駅周辺の旧市街地と、干拓により生まれた新しい番町地域、美の浜地区。東は海の幸あふれる寄島につながる大島地域。西は広島県福山市



を境とする茂平(もびら)、用之江(もちのえ)、押撫(おしなで)地区などそれぞれ特徴ある街並みが構成されます。

それぞれに住まわれる方は個性を持ち、過去は小野竹喬、木山捷平といった文化人から政治家、島田洋八、千鳥の大悟など的人气芸人などジャンルを問わず活躍する人々を輩出してきました。

また、少子高齢過疎化が地方で進む中、数々の子育て政策が奏功してきたのか、「田舎暮らしの本2019年2月号」『住みたい田舎ランキング2019』では、「子育て世代が住みたい部門」全国小さなまち第10

## 福山市神村町

「神村町」は特に観光地があるわけでもなくあまり知られていない町と思いますが、この機会を与えられたことに感謝しつつ紹介させてもらいます。神村町は福山市西部に位置し、一区から十四区にわかれており、人口の割合に面積の広い町です。我が家のある十一区は、松永駅より北に位置し、周囲に田畑のある自然豊かな町です。家の前には「福山景観百選」の一つに選ばれた「浜池」があります。この浜池で、私は四季折々の眺めを楽しませてもらっています。特に蓮の花の咲く6月7月は見事で、早朝から写真を撮りに来られる方も多です。昨年は何故か、蓮の花が半分に減り、



今年はどうなるのか? 心配ですが、また沢山の水鳥が泳ぐ姿、シラサギが佇む姿、霧に包まれた池、水面に映った木々の姿など、その眺めは心を和ませ楽しませてくれます。この土手は神村小学

校の通学路でもあり、息子は毎朝7時過ぎに家を出て、6年間、通っていました。息子にとっては水辺にいたカメの群れや、コイなどが印象的だったようです。

近所には、詩人の井上和子さんがお住まいで、ジュニアポエムシリーズ詩集『風のあかちゃん』が昨年発行されました。井上さんは、神村小学校の「読み語り教室」のボランティアもされており、子どもたちも作品を紹介してもらったり読んでもらったりしていました。

広島県史跡の「松本古墳」も、近くにあり、この古墳は、松永湾を望む、南北に延びる穏やかな丘陵の先端部に構築された北側に造り出しを持つ、二段構成の「帆立貝式古墳」と言われています。また少し奥に入ると、古代の焼き物である須恵器を焼く窯跡などの貴重な遺産が数多く残っている地域があります。中でも、「西山西須恵器窯跡」は福山地域では最大の窯跡と言われています。23年前に神村学区探訪の会が結成され、神村の歴史、文化について調査を続けられ、冊子にまとめられています。今回、改めて、その冊子を読み参考にさせてもらいました。

次に神村の伝統行事の一つ「虫送り祭」について紹介します。これは神村学区内の

位、エリア別の中国地方編では中国地方第3位と岡山県内ではトップの評価を得ております。住めば温泉のようなぬるま湯(?)のような温かな人情、米、野菜、新鮮な魚介や白桃やイチジクなどの美味い果物も豊富、新ジャンルとして確立しつつある、かしわベースの「笠岡ラーメン」と食べ物も美味しい。

まちのイベントも増え、近年人気の「よっちゃやれ夏の祭典」のよっちゃやれ踊りや、春の「さくら祭」、秋の「いちょう祭(笠岡市の市の木である)があり、是非ご参加ください。夏の花火大会は近隣からも有名になり多数の観覧者が訪れます。また秋の笠神社秋祭では、エリアの神輿が夜の市内を豊穣感謝で練り歩きます。

干拓地では県外からも多数の観光客が集まる道の駅と、四季折々に菜の花、ポピー、ヒマワリ、コスモスと続くインスタ映えする広大なお花畑。巨大なガラス温室の植物工場やバイオマス発電、新規の工場の新設など新たな事業も次々芽生え、将来の可能性も次々に誕生しています。歴史と新産業、山と海、古い町並みと新興住宅街など多様な組み合わせられ、秘めたポテンシャルを持つ笠岡、魅力あふれる笠岡です。

高1の父 廣井 隆一



田植えが終わわり、稲作期間中、害虫駆除や風水害の被害を受けないように、神に祈願するための行事で、今から450年前からの歴史があるものです。神村小学校でも5年生になると「虫送り」について学習し、郷土芸能伝統保存会の方たちの指導を受けながら、銅鐘踊りを学習発表会で発表しました。6年生になると、6月末の土曜日に八幡神社で行われる虫送り祭に参加し、学習した銅鐘踊りをしました。小学校時代で、地元の文化を主に学んできましたが、金光学園に縁ができた事で、視野を広めることができたらと思っています。神村から通学するのは一人という事もあり、まだまだ不安もあるようですが、これから学園の新しい先生、仲間と出会い、部活に勉強に充実した学園生活を過ごしていってくださることを期待しております。どうぞ宜しくお願いします。

中1の母 柿原 浩美

# 常識に囚われず、本気で!!

## 芝代 敏宏 (高40回卒)



有限会社 共楽堂 代表取締役社長 芝代敏宏

みなさま、初めまして！  
昭和の時代に学園を卒業した芝代です。  
もう30年以上前のことになりましたが……  
……ついこの前の気がするのですが……  
活躍する卒業生かどうかはわかりませんが僕の体験が少しでもみなさまの参考になればと……  
高校時代は、ただただ変な高校生だったと思います。先生方にもご迷惑をかけたた

と大人になって反省しております。  
たとえば、僕は三原から1時間かけて電車通学だったのですが、学生かばんを持たずに母親手作りのナップサックで登校していた、それを注意されると「僕のかばん、乗り物酔いが激しくて……」とわけのわからない(笑)言い訳をしたりしていました。当時クラスで一人推薦される大学合格体験者発表をどーしてもやりたかったため、担任の荒川先生に直訴してやらせてもらい(7クラス中立候補は僕だけ)、当日みんながスーツで発表する中、当時はやってたバレンタインハウスの白地に赤のハートをデザインしたトレーナーで登壇し散々ふざけて爆笑(？)を取ると言うこともありましたが。まあ僕はめっちゃ楽しももありました。たたくさんの方に「ご迷惑をおかけしました。この場をお借りして謹んでお詫び申し上げます。」  
その、変人性格は大学時代も変わるこ

となく社会人になりました。結果、そのように常識に囚われない性格が社会人になって役立つともいえるかなと思います。社会人になったとき、共楽堂は本当に潰れそうでした。ガス電気水道は滞納して止められる前の日に何とかお金を集めて払っていましたし、社員の給料を払うため、当時代表の祖父が自分が集めた骨董品を売ってお金を作る。月末になると取引先からの電話がすごいので家族総出で居留守を使うみたいな(笑)。そのとき変人芝代の考えたことは、お店をより良くしよう、コソコソ地元でがんばろうではなく、たたくさんがいる東京に店だしやいいじゃん！ でした(笑)。  
とりあえず商品サンプルを持って東京の東武百貨店へ。誰に新店のお願いをしていいのかわからないので菓子売り場の人に「すみません、偉い人誰ですか？」と聞いたところ「偉い人は売り場にはいません」と。「じゃあ偉い人はどこにいるのですか？」。「事務所です」「では、その事務所はどこですか？」と聞いて直接事務所にいらっしゃった部長さんに直訴したところ、店舗は出せませんでした(今考えれば当然ですが……)、催事をやってみたらどうかという提案をいただきました。催事とは期間(1週

間とか1ヶ月とか)を決めて場所を借りる期間限定出店です。面白そうなのでそれやることにしました。最初は僕以外の販売員をどうするか、発注方法をどうするか、生産管理をどうするかと何も決まらない状況で、とにかく試食を配って、その時期の一番商品「ひとつぶのマスカット」を販売しました。それが人気になったため、たたくさんの百貨店から催事のオファーが来るようになりましたが、すぐに会社の資金繰り状況が変わるわけではなかったため、カプセルホテルに年間100泊くらい働きました。みなく年間4000時間くらい働きました。それから約10年して東京にお店を持つことができ、今では17店舗を出店しています。

す。あの時部長が催事を提案してくださったから今があるともいえますし、それからの経営でもたたくさんに救われました。そして当時3名だった社員が今では約40名、その一人ひとりが本気で働いてくれていて今の原動力になっています。その社員たちとの出会いも共楽堂の運命をいい方向に変え続けていると思います。そんなたたくさんの人との出会いを大切にすることで今までできなかったことができていく、そしてそのことをその人に感謝する。  
まさに金光学園で教えてもらった、「人をたいせつに、自分をたいせつに、物をたいせつに」という言葉がいまさらですが、本当にすばらしい言葉だと感じています。  
これからも仕事においてやりたいことがたくさんあります。そんなたたくさんの夢をたたくさんの人の協力を得て、常識に囚われることなく、本気で取り組んで行きたいと思っています。



東武百貨店 元部長の高岡さんと。ちなみにあれ以来ほぼ毎年、今もご挨拶に行っています。



弊社一番商品のひとつぶのマスカット。岡山産のマスカットを生そのままお餅で頼んだお菓子です。

### プロフィール

- 昭和63年 金光学園を優秀な成績で卒業  
→うそです(笑)
- 平成4年 青山学院大学経営学部卒
- 平成5年 辻製菓専門学校卒
- 同年 有限会社 共楽堂入社
- 平成6年 渡仏 ラングドック地方パティスリーバルタンにて修行
- 平成9年 社長就任
- 趣味 格闘技観戦 お笑い鑑賞
- 共楽堂プロフィール
- 昭和8年創業
- 社員数 40名
- 店舗数 17店舗
- 年商 10億円(グループ含む)
- 主な商品 ひとつぶのマスカット
- ほくほ菓 広島チョコラ

# やつなみ保護者会のページ

今回は、指導部・教養部・庶務部の代表の方に、それぞれの部の活動内容を紹介していただきました。

## 指導部

部長 宮口 智子

指導部は、今年度9名で活動していきます。

主な活動は、研修会への参加、保護者地区会の開催に関わること、岡山県広域特別補導への協力参加です。

研修会では、有意義な講話も聴くことができます。

地区会は、今年度も例年通り7月中の開催予定です。地区担当の先生による1学期の学校近況報告から始まり、各地独自の問題点・保護者としての悩み・学校への質問等を、担当の先生方や学校を超えた保護者同士で意見交換できる有意義な場となっております。この会をきっかけ

にして保護者交流を深め、子供理解に役立ててください。ぜひ多くの方の参加を願います。

広域補導への協力としては、地区の方・学園の先生と一緒に、下校時の列車に乗車してのマナー指導や、金光駅前及び周辺での指導、補導にあたります。家庭・学校以外での子供達の姿に触れられる機会を楽しみにしています。

今年度1年どうぞよろしくお願い致します。

## 教養部

部長 乗田 三穂

教養部は、今年度5名の部員で活動いたします。

主な活動内容は、年3回発行される「やつなみ」の保護者ページ作成・研修旅行の企画・研修会への参加です。

「やつなみ」には、生徒や保護者の記事も多数掲載されており、1年を通して様々な行事や輝かしい学園教育の様子を知ることができます。在校生の皆様は勿論、新入生の保護者の皆様も、記事を見ながら親子の会話が弾み、益々これから先の学園生活が楽しみになるのではないのでしょうか。そのため、「体育会」「ほつま祭」「部活動」について原稿を依頼することがありますが、その際はご協力の程よろしく願っています。

秋に行われる研修旅行については、今更にリサーチしながら様々なプランを出し合い、保護者の皆様に楽しんで頂きたい

ら交流が深まるような旅行を企画検討中です。どうぞ楽しみに。

研修会への参加は、7月に倉敷で開催される「PTA指導者研修会」へ、部員のうち中学保護者3名の方に率先して参加を申し出ていただきました。学園以外での研修は、多くのことに気づき学ぶことが出来る良い機会だと思います。

令和元年第1回評議員会にて、即決で始動した息の合った教養部のメンバー。新元号「令和」に込められた願い「人々が明日への希望と共にそれぞれの花を咲かせる」をテーマに、それぞれの力を出し合いながら、金光学園の更なる発展のために希望をもって活動して参りますので、1年間どうぞよろしく願っています。

## 庶務部

部長 山本 陽子

今年度の庶務部は、27名で構成されています。主な活動内容は、ほつま祭での友愛セールの開催と、それに向けての準備です。

友愛セールでは、ご家庭や協賛企業様

からの寄付品によるバザーや手作り品の販売、チャリティー販売、物品の予約販売など、様々な商品をご用意して、皆様のお越しをお待ちしております。

今年度は、普通の金光ベアではなく125周年にちなんだ記念の金光ベアを作ります。またぬいぐるみに着せるミニチュア制服を作り、ダッフィーや金光ベア、金光パンダなどに着せる予定です。いつもとは、違うベアの魅力をお届けできたらと考えております。

また、手作り品については、庶務部が中心となって、「楽しい手作り会」を開催し、大人気の金光ベア以外にも布小物（バッグ・マカロンキーホルダー・ブックカバー等）などを制作して、販売します。

手作り会については、皆様お忙しい中、少しでもご協力くださる方が多く、大変助かっております。そして、この手作り会を通して、子ども達の学年に関わらず、保護者間での交流ができる事も大変喜ばしいことです。

ほつま祭前日・当日は、庶務部総出で準備を行います。充実した楽しい友愛セールになるよう、庶務部一丸となって

# 金光学園やつなみ保護者会 会長就任挨拶



金光学園やつなみ保護者会  
会長 甲田 博豊

令和元年度金光学園やつなみ保護者会 会長を務めさせていただきます。甲田博豊と申します。保護者の皆様・学園関係者の皆様には日頃より本保護者会活動に、多大なるご理解とご協力を頂きこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて私は昨年の2018年4月に中学生になった長男と同時期に保護者会副会長を務めさせていただきました。小学校では役員経験がありましたが、中高一貫校での役員経験は初めてで、右も左もわからないまま昨年1年を終え、この度会長という重要な立場を務めさせていただく事になりました。私自身、今年が前厄という環境中で「このような重大な立場を全うできるのか」と心配をしております。金光校長先生より「厄年とは悪い厄ではなく、いい厄が舞い込んでくる」と言われた言葉に非常に感銘を受け頑張ろうと思えました。

私の中で保護者会（PTA）とは、究極のボランティア活動だと思っております。昨今共働きのご家庭が増える中、生徒・学園のために男性・女性にかかわらず、保護者会の活動に大切な時間を使っていた大きな大変感謝しております。私としては、役員はじめ多くの保護者、関係者の皆様が大変だったけど楽しかった。役員をやったよかった」と思ってもらえるような1年間の活動にしたいと思っています。また、ここ岡山県ではいまだに公立より私立は……というように思われています。私自身もそうでした。私学はご家庭への負担が1番かかると思われるのではな

いでしょうか。たしかに公立と違い、負担も大きいのも事実だと思います。しかしここ数年の目まぐるしい時代の変化に伴い、教育もそれに合わせて変化していかなくてはなりません。公立での教育は国や県市区町村からの指示があり初めて改正されていきますが、私立はその縛りがなくその時々で時代の変化にあつたカリキュラムを組むことができ、いち早く時代の変化に対応し、生徒たちの将来にきつと役に立つ教育ができています。

一昔前とは違い今の時代はインターネット社会になり、SNSによる動画の投稿や節度の欠けた書き込み、またそれに関連した多くの事件が発生しております。「子どもは親の背中を見て育つ」といわれており、私たちも自分たちの子どもだけでなく、様々な人たちに自分の背中を見られていることを実感しながら、誰に見られても恥じない大人として、また社会人として模範になるような態度で生活していかなくてはならないと思っています。

至らない点やご迷惑、お願い等多々あると思いますが1年間宜しくお願ひ申し上げます。

## 「友愛セール」ご協力のお願い!

9月8日(日)開催

梅雨空の合間から時折射す眩しい陽が、本格的な夏の到来を知らせています。本誌が届く頃には期末試験も終わり、そして子ども達には楽しみな夏休みへと続きます。保護者の皆様におかれましては、平素よりやつなみ保護者会へのご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、今年もほつま祭2日目の9月8日 日曜日 当保護者会主催の友愛セールを開催いたします。本年も「金光ベア」をはじめ多くの保護者の皆様のお心もった手作り作品が多数出品されます。また各ご家庭から提供頂いた貴重な品々、そして同窓生の企業様、近隣の企業様からもご協賛頂いた品々を販売させていただきます。今年の予約販売では、特に地場企業の選りすぐりの人気商品を集め、お値打ち価格でご提供致します。近日学校より配布されますチラシにより、多くのご購入を頂ければ幸いです。

この「友愛セール」で得られました収益金は、学内設備の充実に充てられます。日々ご多用の折、友愛セールに向けての手作り会等で、幾度も学校に足を運んで頂くのは何分にも心苦しく思いますが、保護者同士一つの目的に向かい、同じ時間を共有して頂く事で、保護者間の絆も更に強く醸成されるものと思います。

是非とも友愛セールの趣旨と意義をご理解頂き、保護者の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

金光学園やつなみ保護者会 会長 甲田 博豊

# 会報

**総会** 4月27日(土) 1限目、授業参観、2限目、学級会、3・4限目、ほつま体育館において、31年度総会と記念講演会が行われた。今回は記念講演の時間確保のため、授業参観と学級会は各5分短縮で行った。総会では、各部からの会務報告の後、30年度会計決算報告がされた。その後、役員改選が行われ、新三役が選任された。(※別表参照)

総会後の記念講演では、講師に陰山英男先生(陰山ラボ代表)が「常識を破って子どもを伸ばそう」の演題で、子供が集中して学力を上げていくうえで大切なことを大変明快にお話をしてくださいました。なお、この講演を教養シリーズとして、9月に発刊する予定です。

**第1回全役員会・評議員会** 5月15日(水)役員会開催に先立って食堂の試食会を開き、多くの方が参加され、良い点や今後改善されたい点など多くのこ

意見をいただきました。全役員会では、全役員と評議員の任務内容の確認、年予定等について説明があった。評議員会では、各専門部役員の見定後、各部長・副部長が選任された。(※別表参照)その後、H31(令和元)年度活動方針、予算案について検討し承認された。

**第2回評議員会** 6月3日(月)研修会等の出席者確認、地区会、友愛サークル、オープンスタールの協力、各専門部の活動内容の検討等について協議した。

各部		部長・副部長		新三役	
庶務部	教養部	指導部	部長	副会長	会長
山木陽子	森田三穂	宮口智子	部 長	川田妙子	甲田博豊
高橋洋未	畠中律子	五島智子	副部長	上迫 豊	丸本栄作
				北村和章	丸山妙子
				三原一恵	
				山下洋子	

●5月29日 県中高保護者会連合会総会 メルパルク(甲田会長、金光校長)  
●6月11日 幼小中指導者人権教育研修会 浅口市中央公民館(指導部 宮口・村上評議員) ●6月14日 玉島警察署管内子どもを守る母の会総会 玉島警察署(樫田評議員) ●6月17日 県広域特別補導協議会笠岡支部総会 笠岡市教育委員会(甲田会長、佐藤副校長) ●6月19日 県高P連総会・研修会 ピュアリティまきび(甲田会長、金光校長) ●6月28日 浅口里庄P連母親委員会第1回研修会 金光公民館(亀山・三原副会長)  
●7月4日 幼小中指導者研修会 ライフパーク倉敷(赤沢・遠藤・小寺評議員) ●7月12日 中国四国地区高等学校PTA連合鳥取大会 とりぎん文化会館(上迫・亀山・北村・丸本・三原副会長、川田・山下監事、金光校長、佐藤副校長)  
●7月13日 社会を明るくする運動浅口推進大会 浅口市健康福祉センター(岡本・草加評議員)

## 令和元年度 やつなみ保護者会 地区会

No.	地区	日時	会場	出席教員
1	岡山以東	7月20日(土)14:00~16:00	岡山県生涯学習センターミーティング室1~3	水野 成田 小畑 吉森
2	倉敷第1	7月13日(土)18:30~20:30	水島愛あいサロン会議室1,2	小橋 佐藤 松嶋 横山
3	倉敷第2	6月29日(土)14:00~16:00	倉敷市民会館1階市民ギャラリー「藤」	妹尾 内田 天野 弓削
4	倉敷第3	7月13日(土)14:00~16:00	倉敷市民会館3階第3会議室	守分 長谷川 山本澄 北川
5	玉島東	7月14日(日)10:00~12:00	玉島市民交流センター第1会議室	宰相裕 中村耕 石田亜
6	玉島西 黒崎	7月14日(日)10:00~12:00	玉島市民交流センター第3会議室	坂口 平田 小松原 土井
7	富田 長尾 船穂 真備	7月13日(土)15:00~17:00	玉島交流センター	服部 佐藤洋 久野
8	竹 八重 占見 占見新田 地頭下	7月20日(土)14:00~16:00	中ホール	小野 有馬 小郷
9	大谷 須恵 佐方	7月13日(土)19:00~20:30	中ホール	定金 友田 細川 ベン
10	鴨 方	7月12日(金)19:00~21:00	浅口市中央公民館第1会議室	鳥越 高田
11	六条院	7月5日(金)19:00~21:00	浅口市健康福祉センター	奥野 園田
12	寄 島	7月12日(金)19:00~21:00	浅口市ふれあい交流館サンパレア 交流サロン	籠崎 亀山
13	里 庄	7月13日(土)17:00~18:30	里庄図書館 視聴覚室	山本幸 平賀
14	笠岡東	7月20日(土)19:00~20:30	サンライフ笠岡第1研修室	田中 宰相夕 松田
15	笠岡西	7月13日(土)19:00~21:00	笠岡市市民活動支援センター	谷野 平岡
16	笠岡北	7月6日(土)19:00~20:30	北川公民館	新谷 山路 久保田
17	井 原	7月13日(土)18:30~20:30	アクティブライフ井原5階 多目的学習室	森下 西山 角南 ショーン
18	福山第一・三	7月6日(土)19:00~21:00	福山市生涯学習プラザ(ローズコム内)	山下 石田崇 平川
19	福山第二	7月13日(土)19:00~21:00	福山市民参画センター	中島 城戸
20	福山第四A	7月6日(土)19:00~21:00	福山市緑丘公民館	岡田 藤原 土谷 堤
21	福山第四B	7月7日(日)10:00~11:30	福山市緑丘公民館	藤井 東山 水岡 井上
22	福山第五	7月7日(日)13:30~15:30	福山北部市民センター内 駅家公民館2階 第1学習室	安田 戸田 中村文
23	松 永	7月7日(日)13:30~15:30	松永公民館第1会議室	内村 瀬戸
24	尾道・三原以西	7月5日(金)19:00~20:30	尾道浪漫珈琲東尾道店ミーティングルーム	久繁 大西
25	止 宿	アンケートにより個別に相談	個別に相談	石井 日笠



# メタセコイヤ

トアワードの全国表彰式に出席した。

私は、私が行っている自然体験イベントのスタッフとしての活動や、子供たちに生き物の魅力を伝える活動について紹介し、改めて自身の活動を振り返る機会となった。ポスター発表では、全国で活躍している中高生ボランテニア

の活動を知り、刺激を受けた。今後も精力的にボランテニア活動に励みたい。皆さんもぜひ、積極的にボランテニアに参加してください。

## ボランテニアスピリットアワード 全国大会に出場

今年の12月に現高1の田中宏樹くんが、ボランテニアスピリットアワードの中国・四国ブロック賞を受賞し、表彰式に参加しました。以下はその感想です。

高1 田中 宏樹

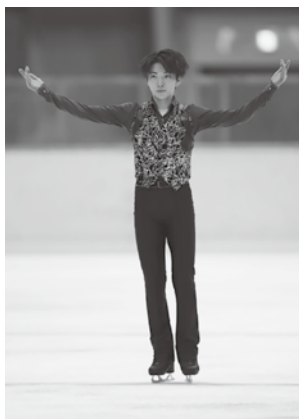
今年の12月に東京で行われたボランテニアスピリット



## 第74回国民体育大会冬季大会 フィギュアスケート競技に出場

高3 木科 雄登

1/30、31日に北海道釧路市春採アイスアリーナで行われた第74回国民体育大会冬季大会フィギュアスケート競技に岡山県代表として出場した。名古屋でのインターハイが終わったばかりで、直後にはドイツでのヴァリアン大会が控えていた。初めての3連戦で身体に疲労もたまり、心も不安でいっぱいだった。さら



に、北海道という寒い地域での開催だったため、大変な試合であり、反対に勉強にもなる試合だった。昨年は岡山県代表として1位になることができたので、今年も頑張ろうと思っていた。その結果、個人9位、岡山県代表として3位の成績を収めることができた。

## 活躍おめでとう

全国レベルの選手と戦って

高3 米村 咲南



私達、高校少林寺拳法部は3月23日から25日の3日間、香川県で行われた全国選抜大会に出場しました。結果は予選敗退に終わり、決勝に進むことはできませんでしたが、全国レベルの選手の演武を間近で見て、圧倒されました。そして私達にはまだまだ課題があるということを感じました。この思いを次につなげるために、上手な選手の演武を動画に撮って研究しました。この気持ちをバネに次のインターハイでは予選を突破し、準決勝、決勝と、引退まで少しでも多く人前で演武できるような日々の練習を大切にしながら頑張ろうと思います。

## インターハイ予選を終えて

高3 川上 理来

6月9日に行われたインターハイ予選で5年ぶりに5回目の優勝を果たすことができました。僕たちはこの日のために日々の練習を仲間と共に頑張ってきたので、優勝という結果を残せたのは本当に良かったです。そして、支えて下さった先生方、先輩方、保護者の方には感謝しかありません。何よりも嬉しかったのは、今まで悔しい思いをした先輩方に優



勝報告ができたことです。インターハイ本選でも良い報告ができるように頑張ります。



横山 勝

今年度より、金光学園に勤務させていただくことになりました横山勝と申します。高校1年団に所属しており、1組の副担任を担当させていただいております。授業は保健体育、球技選択を担当しており、部活動はサッカー部と柔道部の兼部になります。

私は、幼少期からの夢であったプロサッカー選手を目標にしていました。それと同時に、父が保健体育の教師ということもあり、教師の魅力を幼少期ながら感じておりました。そして、今年度よりこうして保健体育の教師として、金光学園という素晴らしい学校に勤めさせていただき、非常に嬉しく思います。保健体育なので、体育の教師らしく明るく元気に日常生活もそうですが、体育祭、文化祭などのさまざまなイベントで生徒のいろんな感情と向き合いながら、生徒の成長に寄り添っていききたいと



中村 文音

今年度より、金光学園に勤めさせていただきました中村文音と申します。中学2年の学年団に所属し、1組の副担任をさせていただいております。授業は中学1年、中学2年、高校1年の音楽を担当し、部活動は音楽部コーラスを担当しております。

私は、小さい頃からピアノや歌といった音楽に親しみ、中学生の頃から音楽の教員になりたいと思っていました。私にとって音楽はいつもそばにあり、自分自身や気持ちを表現することができ、大切な存在です。金光学園は、新人生歓迎会などの行事で合唱をしたり、音楽に触れたりする機会がたくさんあります。そのような時にみんなで、自信を合わせて歌って達成感を感じることで、自信につながると思います。このように、音楽の授業や行事を通して、音楽の楽しさや良さを感じ、音楽を好きになつてもらいたいと思っています。そして、自分を

表現する手段の一つとして、音楽を使えるような授業をしたいです。学園生活を通して、みなさんが音楽ではなくてもなにか一つ「これだけは自信を持つ」ということを見つめる手助けができるよう頑張ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

### 表紙の言葉

中学2年2組 藤澤 奈未

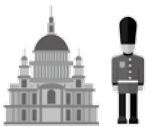
青梅に手をかけて寝る蛙かな

季節はあまがえるの大好きな梅雨。熟す前の甘酸っぱい香りの実。その若くてみずみずしい緑色の実に自分の姿を同化させるかのようなあまがえるの様子を表現しました。

とても気持ち良さそうにうとうとまどろむあまがえるの姿を想像し、とてもかわいらしく描きました。

あまがえるの緑と青梅の緑。この2つの緑は、若々しさを感じます。まるで、私たちを表しているような色なのかなと思いました。そして、とても生命を感じる色だと思えます。

何でもない日常の中には、たくさんの生命があふれていることを感じながら、この作品を創りました。



## イギリス 短期語学研修



### カルチャーショック

高1 廣江 純

カルチャーショック。その言葉を実感したのは、ホストファミリーと対面する直前だった。僕らのホストファミリーは遅れて迎えに来た。日本人ならホームステイに来る子供に心配させないように早めに迎えに来るはずだ。そんな不安なスタートだったが、実際に会うととても気さくな人だった。

僕らのホストファミリーは、香港から数十年前に移住してきた人だった。はじめは緊張していたけど、英語が通じて思ったよりもコミュニケーションがとれたので安心した。ただ、ホストファミリーの英語は中国語なまりだったので、聞き取りにくく苦労した。夕食後は、みんなでテレビを見た。日本語や香港の話をしたりして、楽しく過ごした。話している際に、理解できなかったら、お互いに漢字を書いて理解しあった。とてもフレンドリーで、優しいホ

ストファミリーだった。家庭では家族で家事を分担して協力して生活を送っていたことがとてもいいなと感じた。そんな中、カルチャーショックを体感する場面がいっぱいあった。例えば、バスが長い間来ない、人ごみの中でもタバコを吸う、玄関が無く、家の中で靴を脱ぐ。あと、これはその家の習慣かもしれないが、熱い飲み物しかでない。食事の前には黙とうをして「アーメン」という。これらはとても良い経験になったし、海外のありのままの暮らしを肌で体感することもできた。本当に楽しかった。自分の英語が通じることは分かったが、日常会話がすらすらできるレベルではないのでさらに英語を勉強しなければならぬと思った。また、海外の生活は楽しかったが、日本の良さに改めて気が付くことができた。さらに、毎日不自由なく生活させてくれている両親に感謝が深まった。次回、イギリスに行くときは自分の応援しているサッカーチームのホームスタジアムに行ってみよう。そしてホストファミリーにもう一度会いに行きたい。

### なぜ英語を学ぶのか

高2 藤井 みなみ

「あなたはなぜ英語の勉強をするのです





か「この質問をイギリス語学研修中の英語クラスで、現地の先生に聞かれた時がありました。私は、その時まであまり意識したことがなく、中学生になったから、英語は必修科目になる。という考えのまま自然と過ごしていたことに気が付きました。だから、先生に問われた時は、私はなぜ英語を勉強しているのかわからず、「私は試験に合格するために英語を勉強しています」としか言えませんでした。しかし、イギリスで生活をしているうちにもう一つ自分の答えが見つかりました。それは、世界中の人とコミュニケーションをとりたいから、というものです。

2週間の間にホームステイ、海外での買い物、ちよつとしたあいさつなど、すべての場面で英語で話をする必要がありました。最初は、アメリカ英語とイギリス英語の違いに慣れることができません、DAYを発音の違いからDIEと勘違いしたり、アメリカ英語の単語を話したため、なかなか伝

わらなかつたりと大変なことが多くありました。他にも、ホストファミリーとの会話で気になったことがあつて聞いてみようにも、単語がわからなかつたり、説明の意味が聞きとれなかつたりわからなかつたりと自分の英語力を痛感する日々が続きました。それでも、研修の最後の方には自分から気になったことを積極的に聞き、話せるようになってきました。これらの生活・体験を通して、私は世界の人々ともっと多くのコミュニケーションを通して自分の知らないことをどんどん知っていきたいと思います。そのためには、英語を勉強し記述だけ

でなくスピーキング、リスニングの力をもっとつける必要があると強く思いました。

今回のイギリス短期語学研修で考えることができた自分が英語を学ぶ理由を胸に留め、これからの英語学習に生かしていきたいと思えます。

### 貴重な体験と少しの成長

高2 森上 陽

私が今回、イギリス短期語学研修に参加しようと思ったきっかけは、私の何気ない一言でした。ある日、私は母に「いつか海外に行つてみたい」と言った時、母は「春の語学研修行ってみる？」と言つてくれ、父も快く賛成してくれたことで、今回のイギリス短期語学研修に参加することが決まりました。

数か月前から始まる英語講座やISAさんのオリエンテーションに参加するだけでは、イギリスへ行くことへの実感は全然湧いていなかったのですが、荷物を準備しているとだんだん実感が湧いてきて、出発前日はあまり寝ることができませんでした。

3月17日、ついにイギリスへ出発する日が来ました。私は緊張と楽しみな気持ちでいっぱいでした。

イギリスに着き、授業を受け、夕方にはホストファミリーと会いました。最初はすごく怖くて、家に帰りたいと思うことが何回もありましたが、ホストファミリーみんなが優しく、単語単語で話す私のたどたどしい英語を、親身になって聞いてくれ、とても安心しました。

イギリス滞在中はロンドンやグリニッジ天文台、ケンブリッジ大学など、いろいろな有名な場所へ行きました。英語で説明を聞いたり、いろんなものを自分の目で見たりすることで、本当に貴重な体験ができました。

休日は、ホストファミリーとショッピングモールやロンドンへ行ったり、フットボールの試合を見に行ったりしました。ホストファミリーといつも以上にコミュニケーションをとることが多く、とても楽しかったです。

私は今回、イギリス短期語学研修に参加して、たくさんの貴重な体験ができました。人見知りで消極的だった自分を少し成長させることができた、いろんなことを吸収することができたりして、とても良かったと思います。今回吸収したことをこれからの生活に活かし、将来への道をたくさん増やしたいです。



# オーストラリア姉妹校交流プログラム

オーストラリアで学んだこと

高1 関本 祐樹

僕は、中学2年生の時、英語の先生から、このオーストラリア姉妹校交流プログラムのことを初めて聞いた。そしてその時、この研修に参加することを決意した。海外の文化を学び、英語力を高め、将来につなげたいと思ったからだ。

僕が一番楽しみにしていたのは、約1週間のホームステイだ。1人でホームステイをするのは初めてだった。出発の日が近づいてくると、どうしようもない不安が僕を襲った。約1週間しかないホームステイをより充実したものにするために、放課後、時間を作ってベン先生と英会話の練習をした。ベン先生と話しているうちに、だんだんと自信が付き、出発の直前はホームステイをむしろ楽しみに感じていた。

出発の日、僕は、「何倍も成長して帰ってこよう」と心に誓った。オーストラ



リアのラッドフォードカレッジに着き、ホストブラザーと対面した。とても緊張した。でも、僕は緊張に負けなかった。ベン先生と練習したとおり、落ち着いて自己紹介を試みた。すると、ホストブラザーは笑顔でこたえてくれた。内心、ホッとしたのを今でも鮮明に覚えている。そこからは、すぐにホストブラザーと打ち解けることができた。初日からたくさん話ができただけで、この1週間でも一番良かったことだと思う。

ホストファミリーは毎日たくさん場所に来て行ってくれた。キャンベラのタワー、展望台、ビーチ、有名な韓国料理店など、行った場所全てをこの先忘れることはできないと思う。

キャンベラに滞在している間はホストブラザーと一緒に授業を受けた。しかし、授業の英語のスピードは速く、全くついていけなかった。ネイティブの英語のスピードを実感することができた。この経験をしたことで、僕の中で新たな目標が芽生えた。それは、ネイティブの英語が聞けるように、そしてそのスピードで話せるようになることだ。そのために、まずはネイティブのスピードに慣れること

が大切だと思った。これからのいろいろな行錯誤をして、その目標に近づけるよう努力したいと思う。

中2の時、英語の先生がふといった言葉のおかげで、僕はたくさん友達を作ることができた。そして、これからもその友達との交流は続いていくと思う。きっと一生忘れることができないと思う。1週間というのは本当に短くてとても残念だった。でも寂しい、悲しいとは思わなかった。なぜなら、何倍も英語を話せるようになって、もう一度会いに行こうと心に決めていたからである。高校生の内にやりたいことがまた一つ増えた。



ホームステイが終わるとシドニーに移動した。シドニーでの一番の思い出はオペラハウスを見たことだった。オペラハウスは教科書で見たことがあったが、実際は僕の想像よりはるかに大きく、とても驚いた。他にもブルーマウンテンズでは壮大な自然を堪能した。驚きの連続だったこの研修は、とても短く感じられた。しかし、今まで一番成長した1週間だったし、新たな目標も見えてきた。これから始まる高校生活ではこれらの目標を一つ一つ確実に達成していきたい。

## 言葉の壁

高1 道廣 栞

やはり、言葉の壁は高かった。ホームステイ初日はオーストラリアへ来たことへの高揚感と緊張感で自分らしさが出せず、全くコミュニケーションがとれなかった。私はこれで初日を無駄にしてしまった、と悔しく感じ、夜に反省点をまとめ、積極的に何事にもチャレンジすればよかった、意思表示をはっきりさせればよかった、という点をまとめると一つの考えが私の頭に浮かんだ。それは、ゲス



トではなく、家族の一員である意識を持つということだった。私もホストファミリーも海外の文化・習慣に興味があり、文化交流をしたいと思っているのだから、自分で家族の懐に飛び込んでいく積極性をもって生活することが最も大切な滞在方法だと思った。2日目以降、そのことを意識して過ごしていくと、日に日にホストファミリーと打ち解けられるようになり、ラッドフォードの生徒たちとも仲良くなることができ、コミュニケーションがとれるようになった。そして3日目、4日目と時が流れていき、とうとうホームステイ最終日を迎えた。最終日はホストファミリーが国立樹木園に連れて行ってくれて、雄大な自然や日本では見るこ



とのできない生き物を見ることができて、貴重な経験を積むことができた。また、私自身誕生日をオーストラリアで迎え、ホストファミリーがサプライズでケーキや誕生日プレゼントを準備してくれていた。おいしそうなケーキに立てられたキャンドルを吹き消しながら、発音のいいハッピーバースデーの歌を楽しんだ。私は自分を受け入れてくれてありがとうという感謝の気持ちと嬉しさと胸がいっぱいになった。私にとってこの7日間は一生涯の思い出になった。オーストラリアが私に教えてくれたこと、それは自分を鍛えることだ。海外では思ったようにいかないことが多い分、精神的に鍛えられたことがよくあった。海外生活での苦労は必ず

貴重な経験となって将来役立つと思う。そして、私は今回の研修を通して将来オーストラリアに住みたいという一つの夢ができた。将来への第一歩となる素晴らしい経験にもなったので、今回の研修へ参加して本当に良かったと思った。

### 百聞は一見にしかず

高2 土橋 果歩

まず、ホームステイによって現地の体験ができる。そして今までに2度オーストラリアからの留学生を受け入れており、興味があった。この2つが私がこのプログラムに参加を希望した主な理由だ。

私は海外に行つて観光よりも学びたい。だからホームステイは重要なポイントだった。実際参加してみても学べたことは沢山ある。

食べ物やアメリカからのものが多かったり、学校でさえモーニングティーの時間を持っていたり、立派な国立の博物館が中身もしっかりしているのに入場無料だったり、物価は高いがアクセサリ等一部は日本より圧倒的に安かったり、何においても大きく広く自然が多かった。登校の体験では、数学は日本よりレベルが



低く化学は速かったり、英語では日本のように文章を読解するのはかなり異なる授業をしていたり、どの教科においてもパソコンを使っている人が先生にも生徒にも多かったり、宿題はデータやレポートだったり、生徒は細かいところや自分の気づきの正誤を先生に迷わず質問していたりと日本と違うところが沢山あった。授業が日本のように一対大勢というより一対一の集合に思えた。

ホームステイはオーストラリアの内側だけでなく日本の外側も見せてくれた。日本は清潔さや安全さにおいて過剰に見えるなど。また、人柄も日本人が親切だと他国に言われるが不思議なくらい優しくかった。

シドニー研修でも知れたことは沢山あった。キャンベラより大都市であるシドニーでは多くの国から来た人が暮らしてお



り、自分たちの国の言葉だけでなく英語も使っていた。日本人の遅れと世界の発展を目のあたりにしたようだった。百聞は一見にしかずとはよく言ったものだと思う。見て初めて知識は自分のものになる。



迫力のあった鑑賞会

中1 中谷 絆星

はじまった。暗くなったと思ったら、大きな音で明るい音楽。リーダーの方の拍手と合わせて皆がいつせいに、拍手をし、盛り上がった。ばちを投げたり、早い音をたたいたり、すごかった。

心に残ったことは、『運動会』という曲だ。なぜなら、組み体操、ダンス、かけっこという皆がする事が、私が思っていたのとは違ったからだ。私たちの運動会では、おもしろい事はできない。PPPの方はおもしろい運動会を開催していた。見ている人たちもおもしろいと感じた。

そして、もう一つドレミパイプの演奏だ。私は「なにか見たことあるな」と思った。イッテQに出ていたと聞いて、イッテQを思い出してもPPPは思いつかない。

かった。だから、「出ましたー」と聞いて、とてもびっくりした。

そして、PPPの皆さんは明るく元気だった。チームワークもすばらしかった。だから、すごい演奏も息ぴったりなのだなと思った。見ている自分も、楽しくなった。なんでも良いからやってみてい！と思った。

さいごに感謝の気持ちを伝えたい。今日は、私たちのために音楽を聞かせてくれてありがとうございます。とても、楽しかったです。もし、また聞く機会があるならうれしいと思いました。

心に響いた打楽器

中2 天岡 あすか

PPPの演奏は、打楽器で作られていた。私の中の打楽器は演奏を盛り上げるギターやベースなどかっこいい楽器の引

多様な音楽について

中3 木下 幸喜

今回の芸術鑑賞を聞いて、改めて音楽の力を知りました。それは音楽を運動会ネタでメドレーにする考えや舞台装置などの工夫からも凝っていることが分かりました。また、いつも見ている楽器とは違うものばかりでそのような点にも驚かされました。特にシンバルのみで表現している曲については、一つの楽器のみでも曲ができていることに感動しました。このようなことも、これからのほつま祭や体育会に生かすことができると思います。例えば、ほつま祭では舞台装置や照明に生かせる部分があると思います。体育会などでは細かい点に凝るといってころに集中すればとても素晴らしいものができると思います。これからは今日見た色々な工夫に負けないように行事を頑張りたいと思います。

音楽の表現力

高1 高瀬 響

今日、僕はPPPの演奏を聴いて、音楽は様々な場面を表現できるということに改めて思いました。音楽は人のテンション



き立て役と想っていた。でも、この演奏を聴くと考えが変わった。低い音で、リズムをきざむ太鼓で心まではねた。高い音は小さい音しかでないイメージだったが、しつかりと存在感があった。一人一人の奏でる音にしつかりとした存在感がないと、この迫力はでないと思った。楽しい話で盛り上げてくれるリーダーやすーさんもおもしろく、2時間はあっという間に終わった。今までベースやピアノばかりかっこいいと見ていたが、これからはドラムなどにも注目していきたい。

ンや気持ちなどを細かく表現し、周りの人の気持ちまで明るくしてくれるのだと思いました。

最初、パーカッションとはドラムなどを使うものだと思っていましたが、知らない楽器がたくさんできてきて、驚きが増えませんでした。中でも僕が一番驚いたのは、PPPのメンバーが横を見ずに演奏していたことです。僕だったら、横の人に太鼓のばちが当たってしまうのではないかと、横を見てしまうでしょう。しかし、彼らは何度も練習を重ね、難しい場面でも失敗することを恐れなかったからこそ、人々を魅了する素晴らしいパフォーマンスができるのだと思いました。人の前でパフォーマンスする人は緊張感を感じさせず、いつも通り話すような様子でした。僕もいつか大勢の前で話をしたり表現したりすることができる人間になりたいと思いました。

みんなで一つの夢を作り上げた

高2 近藤 樹一

夢の中みたい。そう思えるほど非日常的なものだった。PPPの人達が同じ動きをしている。かなり奇妙な光景だった。



その感覚はみんなが参加するとより一層増した。会場にいる人達がみんな同じ夢を見ているみたいだった。同じような表情で同じような気持ちで、リズムまで同じものを感じて。けれど、その夢の中の役割はそれぞれ違った。PPPがリズムをつくり、パフォーマンスで僕らに与え、僕はそれを受け取ると、それぞれ独自の感覚でそれぞれの夢をつくる。それぞれの夢のどこかが共鳴し合って一つの共通の夢をつくりあげた。むしろ役割が別々だからこそ一つの夢が成り立ったように思えたのかも。そう思うと、やっぱりこの鑑賞会は奇妙だと思った。この鑑賞会のような芸術はこの世の中でのぼんやりとした役割があるのだろうか。その答えはないが、なんとなく分る気がする。単純に感動したから。鑑賞会で、一つの夢をつくるように、この世の中をつくるために、芸術も欠かせないんだと僕は思った。

### 音楽と衝撃

高3 小田原 秀  
今回の芸術鑑賞は音楽ということでは

なり楽しみにしていました。こうして終えてみるとその期待を大きく上回っていてとても楽しかったです。冒頭で話していた「見る・聞く・参加する」という3点をすべてかね備えた素晴らしい演奏だったと思います。「見る」点ではステージを回したり、様々な体勢で演奏したり、体の小さな動きや揺れ、個々人の性格を表したような動きなどで非常に楽しむことができました。実際に話している訳ではないのに見ているだけで声が聞こえてくるような楽しい動きでした。「聞く」点ではオリジナル曲からアレンジ曲、既存の曲を織り交ぜて演奏されていてとても盛り上がるのできる編成ですごく良かったです。「参加する」点ではステージに出て演奏したりボーディーパーカッションをしてみたりとPPPの皆さんだけでなくあの体育館にいた全員で作りに上げる演奏で一体感を味わうことができました。やはり音楽というものは人の心を楽しく、そして豊かにしてくれるものだと思えて感じることができました。



## 中学生になって



### いろいろなことにチャレンジを

1組 鳴本 湖心

私は、小学校6年生になるまで人見知り、いつも同じ友達と遊ぶことが多かったです。6年生になった時、仲良しの友達はおらず、「ヤバイ」と正直焦り

ました。だけど、担任の先生の話の中で「ピンチはチャンス、他力本願ではなく自力本願」などの言葉で、変わることができました。そして6年生が終わる頃には、自分を一番出せる1年になり、大親友ができました。この経験が私の自信になり、「金光学園に入学したら、新しい友だちを沢山作りたい」と思うようになりました。だから、私の一番の目標は、たくさんの人と関わっていくことです。二番目は、小学校3年生から6年生まで金管バンドで学んだことを生かし、吹奏楽団がコーラスに入って、音楽活動をする事です。

中学生になって、私のことを影で応援してくれる6年生の担任の先生や仲間、大親友や金管バンドの顧問の先生、そして父や母、祖父や祖母のために、自分のために、いろいろなことにチャレンジしていきたいと思っています。そして自分の頑張ったこと、嬉しかったことなどをたくさん報告していきたいと思っています。

### 抱負を語ろう！中学生になって

2組 内田 海基

僕は今、サッカーをしています。あま

り上手ではないので、日々、練習しています。

中学生になってやりたい事は、サッカーと部活を両立させ、両方ともトップを目指すことです。僕は父と約束をしました。それは、サッカーでは、レギュラーに入り、試合にたくさん出場して上手くなることです。また勉強では、金光学園トップテンに入ることです。だからそのためにはどちらとも、効率よくしていくことが大切だと考えたのでその目標を立っていました。

今僕が気をつけていることは、人に感謝することです。小学5年生の時に、毎日、送ってもらっているのにもかかわらず、ありがとうも言わずに、いつも文句を言っていました。ある日、父が僕にいました。「人に感謝できる人は、他人からも感謝される」と、それから僕は、人に何かしてもらったときにはきちんとお礼を言って、感謝しようと思いました。今の僕が大切にしていることは、あきらめない気持ち、自分に自信を持つことです。

まずあきらめない気持ちは、サッカーの監督に言われました。プロのサッカー

選手になるのは、あきらめない奴だと。僕の夢はサッカー選手です。その言葉を言われるまで僕は、すぐに無理と諦めていました。プロになる夢を叶えるために僕はあきらめない気持ちで大切にしています。

それともう一つ、自分自身を信じることです。サッカーで強い相手とやるときに、自信がないといつものプレイができなくなりそうです。だから僕は、今までしてきた練習を信じて試合をしています。最後にもう一つ僕の尊敬している人は父です。誰にでも謙虚で、人に感謝し自分を信じ、時に優しく、厳しい父の姿になれるように僕もがんばっていきます。

### 今年の抱負

#### 3組 板崎 璃子

私が今年頑張りたい事は、自らできる事を見つけ、みんなのためになる事を選んで積極的にすることです。小学校とはちがいで、自分で考えることが多くなり、とても大事になってくると思います。相手（みんな）を想って進んで行



動することがとても大事だと思います。これが金光学園の合言葉の「人をたいせつに」につながると思います。相手のために行動することは自分のためにもなるし、いろいろ学べるので合言葉の「自分をたいせつに」にもつながります。

勉強も頑張りたいです。私は、社会の歴史と、数学の基本計算などはまだできないのですが、文章問題になると解けません。苦手な所が自分ではつきり分かってるので苦手な所を中心に頑張っていきたいです。復習が大事と聞いたのでしていきたいと思いました。



金光学園は、公立の学校よりも外国との交流がさかんなので、それを利用して英語をもっとできるようにし、ホームステイに行きたいです。始業式で前で喋っていた先ばいを見てかっこいい、あんなペラペラに英語が話せるようになりたい、ホームステイに行ってみようと思うようになりました。英語はもともと好きで習っているので頑張っていきたいです。

友達ともケンカせず仲良くしていきたいです。金光学園の人はいい人達ばかりで、すぐ友達ができました。友達を大切にしていきたいです。

中学1年生は、楽しい事がたくさんあります。勉強はもちろん頑張りますが、はじめてもいい所では思いつ切りはじけ、全力で楽しんでいきたいです。

### 夢の実現に向けて

#### 4組 伊藤 璃虹

私は将来、フロントクラーク（ホテルのフロント業務）になるという夢を抱いています。多くの人との関わりの中で生まれる

の交流が盛んなところだと思うので、海外研修や海外姉妹校との交流などの機会を大切に、英語力、コミュニケーション力を身につけるチャンスとしてとらえていこうと思います。また、ALTの先生方にも英語を教わり、慣れ親しんで話せるようになりたいです。

勉強もそうですが、友達もたくさんつくっていいことだと思います。友達が増えると、会話も増えます。そしてコミュニケーション力の向上にもつながります。おたがいの夢を応援し、支え合いながら歩んでいく。こういった関係でありたいです。

伝統あふれる金光学園。まずはそこに入学できたことに感謝しています。金光学園の生徒の一人であることを自覚してこれからの学園生活を大切にしながら過ごしていこうと思います。夢の実現に向けた第一歩を金光学園で今、ふみ出していきます。人をたいせつに、自分をたいせつに、物をたいせつに。この合言葉を胸にかかげながら。

コミュニケーション力を身につけたいと思ったのがきっかけです。

フロントクラークになるために必要な力は英語力・語学力です。フロントクラークは主にお客様の接客をする仕事です。中には外国から来られる方もいると思います。私はどんなお客様にも一人一人にあった適切な対応をとり、信頼されるスタッフになりたいです。そのために中学では特に英語の勉強に力を入れていきたいと思っています。出された課題をこなし、進んで復習や予習に取り組み自主性をみがいていきたいです。

そして金光学園の最大の魅力は他国と



# 新入生歓迎会

来年に向けて

1組 丸本 芽生

私にとって、新入生歓迎会を終えて最も心に残ったことは、部活動紹介だ。なぜなら、文化部や運動部の種類が豊富で、先輩がとてもやさしそうだったから。それに、いろいろな部活のよいところを知れたからだ。

私は新入生歓迎会の前は、「運動は苦手だから、文化部に入ろう。絵をかくのが好きだから、美術部にしようか」など、考えていた。だが、先輩方の部活動紹介を終えて、「どうしよう。どの部活も楽しそう。運動が苦手でも、チャレンジしてみようかな」と思った。この時間がなかったら思えなかったであろう、ドキドキとワクワクに出会うことができた。

この新入生歓迎会を終えて、先輩は、出し物の時にとっても大きな声で、堂々としていてすごいと思った。そして、学年からの出し物や、かざりつけ、アナウンスをしてくれた先輩方のようになれるよ



私たちを喜ばせるためにたくさん工夫をしてくれて、とてもうれしかったから。3年生の楽しんでもほしいという気持ちがよく伝わってきて、感動した。本当にたくさんさんの優しい先輩に迎えられるのだなと思った。また、それぞれの部活動紹介も楽しかった。どの部活も、音楽を流したり、実際にやって見せたりして、オリジナルの紹介をしていた。きつと時間内におさめることも難しかっただろうし、説明も工夫があると思う。その中でもそれぞれの特徴を生かしたオリジナルの要素を入れていて、すごいと思ったし、かつこうよかった。

うにしたい。来年、私達と同じように入ってくる1年生に、こんなふうにも思ってもらえるよう、努力していきたい。

自ら考え動く

2組 吉原 匠

新入生歓迎会を終えた今、ぼくは「自ら動く」という新しい目標に向かって進んでいる。

それは、先輩方が企画してくれた「学校クイズ」だ。大きなスクリーンを使って、学校の物や場所の問題を出してくださった。少し難しい問題などもあったが、周りの人達と相談し、協力しながら楽しく解くことができ、友情が深まると共に、場所を覚えることもできた。



それまでは、入学式のように先生が司会をして一つ一つの行動を指示するのだと思っていた。でも、後に

1年後、今度は私たちが歓迎することになる。私は上級生にたくさん尽くしてもらったと思う。だから、自分がしてもらったこと以上のことを先輩たちにしてあげたいと強く思った。

どんなことにも全力で

4組 竹内 煌瑛

僕が新入生歓迎会で一番心に残ったことは、先輩たちによる部活動紹介です。理由は、僕もあのようにかつこよく曲を吹いてみたいと思ったからです。

僕は新入生歓迎会に参加する前は、「入りたいと思っている部活の先輩は、どのような人だろう」と少し緊張していました。そして部活動紹介が始まりしっかりと見ていると、どの部活の人もみんな真剣にやっていて本当にがんばっているなと思いました。その中で一番入りたいなと思った部活は吹奏楽部です。先輩が息を合わせてジャニーズの曲を吹いているところを見て、「僕も他の人と力を合わせて一生懸命に曲をつくっていききたい」という気持ちになり、吹奏楽部に入りたいなりました。

先輩方が真剣にやっている姿を見て、

先輩や、先生方に話を聞くと……、

「いや、新入生歓迎会は全て生徒が企画から司会進行までやっているよ」と言われ、びっくりした。そこから、中学生になると、何事も自ら考え、取り組むのだと分かった。自分も学園生として、社会の一員として、自主的に考え、取り組み、充実した学園生活を送りたい。



キラキラ新歓!!

3組 吉田 莉情

新入生歓迎会では、先輩方からたくさんのおもてなしを受けた。たくさん楽しい出し物、部活の紹介も、全て私たちのために創意工夫してくれたものだ。

そして、中でも一番心に残っているのは3年生の出し物だ。みんながハキハキしゃべったり、楽しそうに演技をしたり、

僕はどんなことにも全力で取り組んでいきたいという気持ちになりました。吹奏楽部に入り、真剣にかつこよく演奏している姿を他の人に見てもらえるようにがんばりたいと思います。



# 中1 入校時 合宿



仲間と共に学び合った

1組 山瀬 あおい

入校時合宿ということで、私はとても不安でした。まだ2週間しか経過していない友達と、1泊2日過ごすというのは、私にとって不安でした。それでも、いろんなことを共にすることで、いろんなことを学び、いろんなことを知り、協力しながら楽しみ共に時間を過ごすことで、より仲良くなれました。

初日の朝、教室に入るまで、私は不安な気持ちでいっぱいでした。でも、みんな

なのジャージ姿を見て、これから合宿が始まるんだという、ワクワクした気持ちになり、不安な気持ちが消えました。まず、校長先生の話を聞いて一番心に残ったことは「5S」の話です。「整理・整頓・躰・清潔・清掃」の5つのSは、気持ちを整理すること、落ち着くことにつながってくると思うので、とても大事なことだと思いました。

次に、町内オリエンテーリングでは、協力し合って問題を解き、最初はぎこちなかった班の男子とも仲良くなることができました。金光にどんなものがあるのか知れたり、行ったことのない場所へ行ったりもできて、とても楽しかったです。

学園歌コンクール

ルや集団ゲームでは、協力することの大切さを知れたり、友達の知らない一面を知れたりして楽しむことができました。

夜スタや班別学習では、班の人と



協力して答えを出すとき、「こうじゃないかな」「違うかな」と、話し合っただけで白い解答が出たり、なかなか答えが出なかったりしてとても楽しかったです。この経験をいかして、これからの学校生活を楽しく、安全に、真面目に過ごしていきたいと思います。

中1入校時合宿の思い出

2組 中川 舞子

私の入校時合宿の思い出は実行委員をやったことと、班別での行動です。

私は学園歌コンクールと表彰、閉会式の司会をやりました。私は人前で何かを話したりするのが苦手なのでそれを克服するために自分から司会に立候補しました。本番では臨機応変に対応しないといけないところもあったので大変でした。少しかもしれないけれど人前で話せるようになった気がします。

班別の行動では、始めは全員が相手にベースを合わせようとしませんでした。徐々に相手に合わせ協力するようになり、私には他にも心配なことがありました。班の人たちがあまりお互いを知らないということです。こんな状況

で楽しくやっていたのがとても心配でした。しかし、いざ合宿が始まってみると同じ班の人と仲良くなるようなイベントがあったので、最初にあった不安はなくなりました。

この実行委員の司会をやったことと班別の行動は私にとってはとてもいい思い出です。まだ名前と顔が一致しない人や名前すら知らない人がいます。でもこれからの学校行事では名前を覚えて、他のクラスの人とも仲良くなるようになりたいです。今回の入校時合宿で仲良くなった友達・班の人たちとはもともと仲良くないなと思います。合宿を通して同じ学年の人と仲良くできたのはとても良かったと思います。

よるこびと達成感で胸が熱く

3組 山本 伊織

私が今回の入校時合宿で心に残ったことは夜スタと実行委員です。

夜スタは、1日目の夜にありました。夜にあるのに加え、集団ゲームパート1の後にあつたためとてもつかれていて、「なんで今から勉強しなきゃいけないの」と思っていました。ですが、夜スタは私

が想像していたものとはちがいました。なぜ解きやクイズなどで、興味がわいてきました。始まる前とはちが「楽しい」と感じられました。そして終わった後、同じ班の友達が「想像以上に面白かったねー」と言っていて、みんなもそう感じたんだけ思いました。最後に吉森先生が言っていた通り「仕方によって勉強が楽しく感じられる」ということは本当だと改めて実感しました。

私は合宿の実行委員に以前、立候補しました。結果、なることができ、どんなことをするのだろうとワクワクしていました。初めて他のクラスの実行委員の方と集まり、役割を決めたり、放課後に集まるたびに「このメンバーで良かったな」と思うようになりました。

そして、合宿当日になりました。私のクラスは町内オリエンテーリングの担当でした。司会は久しぶりで緊張しましたが、もう一人の方と協力し、無事終えることができました。その後も集団ゲームなどをしたりして、閉会式が始まりました。実行委員全員が前に出て拍手をもらった時はよるこびと達成感で胸が熱くなりました。放課後も残ってみんなと協

力して頑張ったことが認められた感じがしました。

このように私は合宿を通してたくさん の事を学ぶことができました。協力すること、勉強の楽しさ……ここには書ききれない程、充実した実りのある2日間でした。学んだことをするだけでなく、これからよりよくなるように発展していきたいです。

それぞれの違い、それぞれの役割

4組 栗元 涼

楽しみにしていた入校時合宿がありました。入校時合宿で特に心に残ったことは、校長先生の講話です。イエローハットの創業者の方の発案の「5S」という言葉があることを教わりました。毎日トイレ掃除をして、整理、整頓、清掃、清潔、躰をモットーに、日々頑張るといことが大切だと知りました。

また、指一本一本の長さが違っているからこそ、「それぞれの違い、それぞれの役割」があつて物をつかむことができるといことが分かって、とても驚きました。日頃あまり意識していなかったことでした。改めて「違い」というも



# 中3沖縄修学旅行



夜はユインチホテル南城に宿泊し、林先生のお話を聞きました。そこで遺骨収集や沖縄戦のことを学びました。「平和」と言う文字の本当の意味や遺骨収集の辛さを知ることができました。

修学旅行1日目を通して、平和であることの大切さを知ることができました。

修学旅行2日目の前半は引き続き平和学習でした。この日の平和学習場所はひめゆりの塔、魂魄の塔、平和祈念公園でした。私たちは旅行前に事前学習をして、沖縄戦について多くのことを学びました。実際に現地に行つて詳しい資料などを見ることで、新たに知ることも多くありました。その中で、私が1番恐ろしいと感じた事は、当時の人々は死を目の当たりにしていたということです。それも、

## 2日目前半 伝えていきたいこと

2組 楠岡 永梨

ならないとわかりました。



沖縄戦の爪痕は今でも深く残っており、基地問題などの課題がたくさんあります。それらを解決するためには、私たちももっと平和について知り、考えなければ

## 第1日目 戦跡を訪れて

5組 根津 真凜

私たちは空港から飛行機に乗って沖縄に行きました。着いた時は、これから始まる沖縄での生活を想像し、ワクワクした気持ちでいっぱいでした。

まずバスに乗って魂魄の塔に行きました。ここで平和集会を行い、平和を祈りました。次にひめゆりの塔平和資料館に行きました。そこで沖縄戦体験者の証言等を見て沖縄戦の辛さや大変さを痛感しました。

その後、糸数塚アブチラガマに行きました。ガイドの方にガマの中の生活や当時のことを教えていただきました。暗闇体験では当時の人の気持ちや辛さを実感することができ、このガマでの体験は修学旅行の中で最も有意義なものになりました。

のがあってこそ、全体が成り立つということが分かりました。

次に、町内オリエンテーリングでは、班で協力して親睦を深めあうことができました。また、金光町内を探索し、たくさん施設の位置を確認しながら金光町のいろいろなことを知ることができました。

そして、学園歌コンクールです。クラスみんなで力を合わせたので、素晴らしいハーモニーを奏でることができました。クラスで一致団結した瞬間だったと思います。

集団ゲームでは規律を学びながらも楽しむことができ、大いに盛り上がることができました。

そして、なんと四組が総合グランプリで、優勝を果たすことができました。これも、みんなが団結した成果だと思ひ、嬉しかったです。

楽しいだけでなく「団結すること」「規律をまもること」を学べた入校時合宿でした。仲間とともに、よい思い出をつくることができよかったです。

この入校時合宿で学んだことを、これからの学園生活で生かしていきたいです。



体の一部が失われた状態であったり、水を必死に求めながら亡くなっていったりするような悲しい亡くなり方でした。特にひめゆり学徒隊の人たちは、それを毎日のように見ていて、精神もボロボロになったそうです。それでも国のために働かざるを得ないような悲惨な戦争は二度と起きてはならないことだと思いました。そのためにもその事実を次の世代に



も伝えていかなければならないことを改めて感じ、二日間の平和学習を終えました。

その後は首里城へ行きました。その園内に入った時から、まるで昔にタイムスリップしたように感じました。そして私が見入ってしまったのはやはり正殿です。日本にある城の中では、金閣が一番華やかだと思っていました。それをはるかに上回る、想像以上の立派なたたずまいと華やかさから、当時の琉球王国の繁栄が感じられました。この首里城は今まで何度も壊れてしまったようですが、ぜひこれからも残し続けて行けたらいいなと思います。

### 2日目後半 古宇利島の方の優しさにふれて

4組 相原 一皓

沖縄修学旅行2日目後半、まず郡島の公民館で民泊でお世話になる方と入村式をしました。そこで歌を聞かせてもらいました。そしてそれぞれの家に行きました。僕のグループは入村式が終わって2回荷物を置くと、まず水とオーシャンタワーへ連れて行ってもらいました。オー



3日目後半 ありがとう玉城さん  
2組 宮野 凌輔  
沖縄修学旅行も後半に差し掛かり、少し疲れが見えはじめた3日目は、郡島と言う島の民泊の家で朝を迎えた。僕は玉城さんの家に友達と5人で泊まらせていただいた。前日は島の歴史を学んだり、観光地へ行ったりした。今日も何があるのか楽しみにしていた。まずは穴が開いて見ると言う不思議な岩を見に行ってきた。郡島はアダムとイブの伝説があり、いくつかな不思議な場所が存在する、例えばハードロックハートの形に見えるハーロックなどがある。この色の穴を見ると本当に穴が開いているように見えて驚いた。

そしてこの島唯一の商業施設であるオーシャンタワーへ行った。最上階からは郡島とその周りの青い海を一望できた。ここでお土産を買ったり隣接している貝殻の博物館を見学したりしているとあっという間に1時間が過ぎた。

そして、迎えた離村式。この2日間を振り返ってみると予想以上に楽しくて修学旅行の中で最も印象に残る体験となった。短い期間だったが濃厚な思い出とな

り、玉城さんとお別れするのは名残惜しかった。離村式が終わる、お別れの時、玉城さんと再会を約束して古宇利島を後にした。鳥が見えなくなるまで手を振った、その手を下ろそうとした時、ふと窓の外の景色を見ると、行きと同じはずの景色が違って見えた。様々な貴重な体験をさせていただき、自然の壮大さを目の当たりにし、感謝の気持ちがひとりりで沸き起こった。きつと僕自身が豊かになったことで目に映る風景までが変わって見えたのだろう。いつかきつと5人でまた来ようと思ふまで誓い合った。

次に来る時まで、もう一回り成長していよう。そのために日ごろの生活も今より頑張っておくと思おう。沖縄での3泊4日は、今後生きていく上での大きな糧となった。一緒に行った

シャンタワーではありままで登って景色を見たりたきさんのお土産を買ったりしました。

次にハートロックへ連れて行ってもらいました。名前の通り岩がハートの形になってとてもびっくりしま



した。そして家へつくと夜ご飯に沖縄の郷土料理であるタコライスを作ってくれました。白米の上にチーズとひき肉を好きな量を入れてケチャップをかけて食べました。少し辛くてとてもおいしかったです。この民泊で沖縄の食文化や地元の方々と話すなど皆さんの貴重な経験ができました。そして1日と言う短い間でしたが初対面の僕たちにとっても優しく接してくれた民泊の方にとっても感謝しています。

友達、先生、現地でお会った方々、迎えてくれた自然、送り出してくれた家族、すべてに感謝している。本当にありがとうございます。

### 3日目後半 最高の思い出

1組 松田 紗奈

3日目の離村式は、1日ぶりに会うみんなの笑顔であふれていた

はじめは不安しかなかった民泊だったが、民家の方の優しさに触れ沖縄の人の温かさを知ることができた。ハートロックや古宇利タワーなど皆さんの場所を訪れたり、一緒にサーターアンドギーを作ったりなど数え切れないほどの思い出ができた。離村式ではそんな感謝の気持ちを歌で伝えた。歌ったのは、友達に向けての歌詞だったため、気持ちが伝わるの心配だった。しかし、みんなの気持ちを一つにして届けた歌は民家さんに届いていたと思う。民泊を終えて向かったのは美ら海水族館。「美ら海」とは沖縄の方言で「清らかな海」という意味だそう。だ。「美ら海」と言う名前がびつたり合う沖縄の海を見た時は感動した。エメラルド色に輝く海は今まで見た海と全く

## 山の学習 中2



### 一生の思い出

1組 小林 なな子

私が山の学習を通して学んだことは、集団で生活するには、全員で協力し、全員が同じ方向へ進んでいくことが大切だということだ。大山登山では、途中何度も登りたくないと思っただけで、周りに

違っていたからだ。また水族館の巨大水槽で泳ぐジンベイザメの想像以上の大きさに驚いた。沖縄の自然は本当に豊かだった。

私はこの4日間で、戦争の恐ろしさ、命の尊さだけでなく、沖縄の人の温かさや自然の美しさなどたくさんを知ることができた。また、この旅行を通してクラスや学年の団結力がさらに深まったと思う。中学校生活最後の1年。最高の時間を仲間と過ごしたい。

### 4日目(最終日) 新鮮な経験

2組 堤 万菜

私が1番楽しみにしていた4日目、国際通りに着いた時いつもとは違う街の景色が新鮮でした。グループごとに分かれて行動しました。私たちのグループは紅芋、シークアソーやマンゴーの味のかき水を食べました。お土産もたくさん買いました。国際通りのお店を通して沖縄の文化を感じることができました。

那覇空港に向かうバスでは、このまま沖縄にいたい。帰りたくないと思いました。帰りの飛行機では友達と思い出を楽しく話しながらも沖縄を離れる寂しさを



感じずにはいられませんでした。高松空港から帰るバスでも、沖縄の余韻に浸りながら、最後の最後まで友達と語り合いました。この修学旅行を振り返ると、初めての事ばかりがたくさんあり、何もかもが新鮮で充実した旅になりました。

平和学習では沖縄戦の激しい戦い、当時の方々の悲しい経験などたくさんを学びました。死ななくていい人がたくさん亡くなった戦争、こんな辛い出来事を今後絶対に起こしてはならないと改めて強く感じる事ができました。そして今度は私たちが伝えていかなければいけないと思います。今回の修学旅行で学んだことと、深めた絆を今後の行事にもつなげていきたいと思っています。



頑張っている仲間がいたから私も頑張ることができた。また、キャンプファイヤーでは、全員が楽しんでいたので私も思い切り楽しむことができた。もし誰か乗れない人がいたら雰囲気壊れてしまいがち、あまり楽しむことができなかっただろうなと思った。だから私は全員できまりを守って何かをするということが大切だと思った。

山の学習で私が最も心に残ったことは、キャンプファイヤーだ。小学生の時の山学で雨が降り、キャンドルサービスしかできなかった私にとって、初めてのキャンプファイヤーだった。まず始めに中心に火がついた瞬間、周りがパッと明るく温かくなった。その時、心臓のドクツドクツという鼓動が自分で感じられるくらいわくわくした。

キャンプファイヤーの中でも特に心に残ったことは、1組のスタンツだ。練習している時はみんな楽しんでいる感じではなかった。でも、本番では1組全員ノリノリで楽しむことができたと思う。みんな最高の笑顔で、私ほもう思い残すことはないくらい楽しかった。

今思い返してみると、今回のキャンプ

ファイヤーは1組全員、2年生全員が楽しむことができていた貴重な時間だったのだなと思った。私は今回、今までは少し違う一体感を味わったような気がする。きっと、大人になっても忘れることのないキャンプファイヤーだったのだろうなと思った。

最後に、私はこの山の学習を、ほつまつま祭や体育会に活かしていきたいと思った。また、副校長先生もおっしゃっていたように、ネガティブな考えからは何も生まれないので、前向きに物事を考えるようにしようと思う。今回の山の学習を通して学んだことを生かし、これからの学園生活をよりよいものにしていきたい。

### 乗り越えた自分

2組 佐藤 祐人

この山の学習では大山登山やキャンプ場でのテント泊、野外活動など、乗り越えなければならぬことがたくさんあった。

私が最も印象に残ったのは、大山登山だ。バスが学校を出発し、大山へ到着した。そして、登山が始まる。最初は、自分の体力では大変そうだが、頂上まで登れ

るかな、と思っていた。登っていくうちに、だんだん疲れてきた。けれども、周りの人は歌いながら登っていたり、近くの人と話しながら登っていたり、笑顔が見えたりした。3合目まで来たときにぼくは、まだ3合目なのかとネガティブな気持ちだったが、周りの人は同じセリフでも、明るい声で言っていたので、それにつられて考え方や気持ちも変わった。同じ状況でも捉え方を変えることで感じ方が変わることが気づき、楽しんで頂上まで登ることができた。副校長先生のお話にもあった、物事に前向きに取り組みということの大切さをとて感じた。

山頂では、遮るものがないとてもきれいな景色を見ることができ、達成感を味わうことができた。下山していたとき、転んでしまったばかりを、大丈夫かと友達が助けてくれた。そして無事に下山することができた。

この山の学習は、最初は不安だったが、同じテントのメンバーとお互い協力し合うことができ、困った時に先生にも助けももらったから、最後には、参加して良かったと思えたこと、つらいことを乗り越えた先にある達成感を忘れずに、これ

から先にある苦手なことに取り組んでいく原動力に変えたい。

### ゴールの先で得たものと仲間

3組 岡本 愛花

「大山、正直に言っただけでいい」これは、私が大山を見た時に発した言葉だ。この高く高く堂々と佇む山に登ることをすぐく実感させられた。同時に山の学習の始まりだと思った。そんな私が山の学習で学んだことは二つある。

一つ目は、大山登山で学んだものだ。これはみんなでもやり遂げた達成感、自然の厳しさ・偉大さ、仲間の大切さなど他にもたくさんある。その中でも一番は、辛さの先にあるものを知ることができたことだと思う。大山登山を一言でいうと「辛い」だった。でも、その辛さの先のゴールで得たものは、素晴らしいほどの達成感と美しい頂の景色だった。途中で仲間と「頑張ろう！もうちょっとだよ」と励ましあった。仲間と共に頂という大きな壁を乗り越え、ゴールで得て学んだものを私は忘れることはないだろう。

二つ目は、三組全員で一つのものを作りに上げる楽しさだ。キャンプファイヤー



イヤーでの出し物を全員で考えた。私は、エールマスターもあり、とにかく忙しかった。エールマスターとクラスの両立はとても難しかった。でも、全員で一つのものを作り十分出し切ったあの夜、私はとても楽しくてしかたなかった。もともとこの時間・空間が続いてほしかった。その後のトーチサービスはとても美しく、宰相先生の言葉がすごく心に響いた。厳粛かつ楽しい雰囲気でもキャンプファイヤーは私たちが素晴らしいものとなった。

私はこの山の学習でたくさんの方を学んだ。この経験をこの場だけのものではなく、これから生かしていきたいと思っている。辛いことや大きな壁を仲間

と乗り越えて得たもの……それは、自分を成長させる新しいものだ。「辛い」が「楽しい」に代わるように、最後まであきらめない生き方をしたいと思う。山の学習は一生ものの思い出になった。

### 仲間と協力してできた

#### 最高の思い出の詰まった3日間

4組 沖田 遥香

「めっちゃ楽しかったよ！」家に帰り、親と会話をした第一声はこの言葉だった。私は、山の学習をとても楽しみに待っていた。なぜなら私たち2年生は、1年生の時に遥照山に登っていない。だから、私は、いや私だけではなく、楽しみにしていたのは2年生全員だっただろう。

山の学習について先輩に聞くと、「私は、1年生の時に登った遥照山の方が楽しかったな」と言われた。しかし、私はその話を聞いたときに、先輩が登った大山と私たちがこれから登る大山は違う、自分たちで楽しくして最高の思い出となる大山登山にすればいいと考えた。あとは当日をウキウキしながら待つのみ。

そして当日、初めは大山登山だった。待ちに待った大山登山。美しい風景を見



ながら頂上に向かう。頂上についてきたきの素晴らしい光景は一生忘れないだろう。下山は足元がすべりやすく友だちと協力しながら下りた。2日目、まずはテント作り。テント作りは一人では絶対できない。みんながいるから協力し合って作れたテント。次はキャンプファイヤー。2年生13人が協力し合って今までの先輩を超すような楽しいキャンプファイヤーだったと思う。各クラスのスタンツ、このメンバーだからできることを思い切った。ほかのクラスの前でやっていた。やっている人、見ている人、笑っている人、笑っていた。一人だどできない、みんながいてできた、楽しい思い出となった。3日目、野外活動。私は洞窟探検だった。洞窟探検では大切なことを伝言しながら狭い穴をおって進んだ。洞窟探検ではクラスの人

ている人、笑っている人、笑っていた。一人だどできない、みんながいてできた、楽しい思い出となった。3日目、野外活動。私は洞窟探検だった。洞窟探検では大切なことを伝言しながら狭い穴をおって進んだ。洞窟探検ではクラスの人



たちではなく、他のクラスの人たちも一緒にやった。少し、不安ではあったがとても楽しかった。

この3日間、仲間と協力し合って最高の思い出がたくさんできた。これからも、自分一人で何事も進めるのではなく、友だちと協力し合って一歩一歩、歩んできた。



# 高3人権講演「私の歩んだ道—見えないから見えなもの」

NPO法人 ヒカリカナタ基金 理事長 竹内 昌彦先生



人に感謝される人間になりたい

1組 服部 直樹

私が講演の中で一番心に響いたのは「人に感謝される人間になろう」ということです。私もどこか自分の利益になるように、都合のいいように行動してしまいう時があります。しかし、先生の話を聞いてやはりこのままでは理想的な人間にはなれないと痛感し、難しいことではあります。少しずつ思いやりのある人を目指し、みんなの役に立てるようにになりたいと思いました。

常に優しい心を持って

2組 藤田 恵

目が見えないことを否定的に捉えるのではなく、そこからどうするかと考えられていたことに、とても驚いた。つらい

ことがあっても自分だけでなく周りの支えがあったから立ち直れたという考えに共感した。

今まで、勉強や他のことも、あまり本気で取り組めなくて、なんで自分ではできないのだろうと悩んだこともあったけれど、先生がおっしゃっていたように、誰かを助けたり、幸せにしたりできるように、誰かを助けたら、幸せになるための勉強なのだと思います。少しづつでも頑張れるような気がした。自分も、他の人の為に行動しようと考えて動いてきた方だと思っていただけ、まだまだだなと思った。常に優しい心を持って生活していきたいなと思った。

## 命の大切さを学んだ

3組 森永 慶之

今回、竹内先生の講演を聞いて、多くのことを学ぶことができました。その中でも特に心に残っているのは、命は自分1人のものではないということでした。両親からもらった命を大切に、また周りにありがとうと言われるような世のお役に立つ立派な人間になっていきたいと思いました。

## 人とうち接すればよいのか

4組 小川 真央

今までで、涙が出てきた講演は初めてで、とても良い話を聞かせていただいたと思います。盲目の人の話を聞くのは初めてで、たくさんのお話を聞かせていただきました。命を大切にすること、障害者や高齢者に対しての接し方を学ぶことができました。親への感謝を忘れず、身近にいる人など、大切に接しようと思います。今回のことでもたくさんさんの良い事を学びました。

## ありがとうの精神

5組 小池 悠太

今まで、当たり前前のことに対してありがとうの気持ちを伝えることができていませんでした。けど、今日の講演を聞いて、もっと気持ちを伝えていきたいと思いました。将来こういうことを伝えられるような仕事について、たくさんの人に障害について知ってもらえるような大人になりたいです。

## 人の役に立ちたい

6組 田邊 陽紀

今日の講演を聞いて、改めて自分が幸せなんだと思いました。自分の親戚の中にも障害を持った人がいて、生活の大変さや、つらさを少しは理解しているつもりだったけど、今日からまた人の気持ちを考えて生きていきたいと思ったし、人の為に頑張ろうと思いました。将来は人の役に立つロボットを作りたいです。

## 皆が暮らしやすい社会を

7組 藤永 日向

私が今まで聞いてきた中で一番感動した講演でした。竹内先生がいろいろな話をしてくださったおかげで、自分のすべきことをもう少し見直そうと思ったし、将来について考えようと思いました。また、身近に困っている人がいたら、積極的に自分から声をかけて助けたいと思いました。皆が暮らしやすい社会を自分たちがつくっていききたいです。困っている人や悩んでいる人がいたら、見て見ぬふりをするのではなく、そのような人々を救える強い人間になりたいです。



**【学校・入試説明会】**

月 日	会 場	内容及び時間帯	申込
6月 8日(出)	福山 県民文化センター(文化交流室)	学校説明会 (14:00~16:00)	不要
6月 8日(出)	井原 地場産業振興センター(経営研修室)		
6月15日(出)	倉敷 ライフパーク (中ホール)		
6月15日(出)	岡山 ピュアリティまきび(中会議室)		
6月22日(出)	<b>金光学園</b>	授業公開 (8:45~) 学校説明会 (10:00~12:00)	不要
7月28日(日) 8月24日(出)	<b>金光学園</b>	<b>オープンスクール PART I</b> 「一日入学」下記参照	<b>必要</b>
9月21日(出)	倉敷 ライフパーク (視聴覚ホール)	入試説明会 (14:00~16:00) (個別相談会)	不要
9月28日(出)	井原 地場産業振興センター(経営研修室)		
10月 5日(出)	福山 県民文化センター(文化交流室)		
10月 5日(出)	岡山 ピュアリティまきび(中会議室)		
10月26日(出)	<b>金光学園</b> ※地域会場 (模擬テストのみ) 岡山国際交流センター、県民文化センター福山	中学入試模擬テスト (9:00~12:30) 中学入試説明会 (13:30~15:00) 個別相談会 (15:00~16:00)	必要 不要 不要
11月 2日(出)	<b>金光学園</b> ※地域会場 (模擬テストのみ) 岡山国際交流センター、県民文化センター福山	高校入試模擬テスト (9:00~12:45) 高校入試説明会 (13:30~15:00) 個別相談会 (15:00~16:00)	必要 不要 不要
11月 9日(出)	<b>金光学園</b>	入試説明・相談会 (14:00~16:00)	不要

**【オープンスクール PART I・II・III】**

対象	行 事	日 時	場 所	内 容	申込
小 中	PART I 一日入学	7月28日(日) 8:40~12:05 8月24日(土) 8:40~12:05	金光学園	授業・部活動体験 学校説明会 グローバル教育体験発表 個別相談会	必要
小 中	PART II 文化祭見学	9月7・8日(土・日) 10:00~14:00	金光学園	見学とスタンプラリー 個別相談会	不要
小	PART III 中学体育会見学	9月22日(日) ※雨天順延 9:00~15:00	金光学園 グラウンド	参加種目もあります	不要

詳細は金光学園ホームページをご覧ください。

R2(2020)年度の中・高校募集用の「学校案内」ができています。  
自由に配布できるように用意しています。ご協力いただける方は、  
ご連絡ください。

HPにも掲載していますので、ご覧ください。

<http://www.konkougakuen.net>



以上 よろしくお願ひいたします。

日時 2019年7月28日(日) / 8月24日(土) 8:40~12:05

場所 金光学園中学・高等学校

対象 小学5・6年生と保護者の方

中学1・2・3年生と保護者の方

※4歳から小学4年生まで参加できるコーナーもあります。

内容 授業体験 (小学生・中学生)

学校説明会

グローバル教育体験発表 (中学生・小中保護者)

部活動体験 その他

**\*一日入学スケジュール**

	小学生対象	4歳~小4 対 象	中学生対象
8:40~	受付 (ほつま体育館下)		
9:10~9:20	オープニングセレモニー (ほつま体育館)		
9:20~9:40	オリエンテーション		
9:55~10:45	楽しい 授業体験	チャレンジ コーナー	授業体験
11:05~12:05	部活動体験 チャレンジ	キッズ プレイ コーナー	部活動体験
12:05~	個別相談コーナー(希望者のみ)、食堂体験(希望者のみ、当日食堂を利用できます)		

\*保護者による、お茶サービスや「なんでも相談コーナー」もあります。

**[授業体験] 9:55~10:45** チャレンジコーナーと  
キッズプレイコーナーのみ  
9:55~12:05

	教 科	内 容「タイトル」	対 象
小学生対象	A 国 語	目指せ!! 読感文コーナー	小5~6年
	B 社 会	世界遺産! 弾丸トラベラー	
	C 数 学	謎解きは金光学園で!	
	D 理 科	音の正体をさぐれ!!	
	E 英 語	Let's have fun in English!	
	F1 技 術	パソコンで作ろう! ~楽しい暑中見舞い!~(7月)	
	F2 技 術	3Dプリンターで小物にチャレンジ(8月)	
	G 美 術	Let's make the color ~三原色を使って作る粘土物~	
	H 体 育	Let's play teeball!	
	I チャレンジコーナー	楽しい工作にチャレンジ(途中退場できます)	
J キッズプレイ コーナー	みんなで楽しく遊ぼう(途中退場できます) (お給かきや風船遊びなどで、楽しく遊べます)	4歳~小2年	
中学生対象	K 国 語	心に響く恋文 ~文豪に極意を学ぶ~	中学生
	L 地 歴	食べ物から見る3Dの地球	
	M 数 学	種も仕掛けもある数学マジック	
	N 生 物	光る生き物の謎を追え!!	
	O 化 学	化学マジック ~突然色が変わる水~	
	P 英 語	Talk and Talk	

\*教科によっては定員に限りがあります。先着順で定員になり次第、第2希望とさせていただきますので、お早めにお申し込みください。

**[部活動体験]  
11:05~12:05**

- ①新聞部 ②天文部 ③生物部(小学生のみ)
- ④電気科学部(小学生のみ) ⑤書道部 ⑥茶道部
- ⑦音楽部吹奏楽団 ⑧音楽部コーラス
- ⑨放送部 ⑩科学部(小学生のみ) ⑪美術部
- ⑫ラグビー部(中学生のみ) ⑬ソフトテニス部
- ⑭卓球部 ⑮野球部 ⑯サッカー部(小学生のみ)
- ⑰柔道部 ⑱剣道部 ⑲バスケットボール部
- ⑳バレーボール部 ㉑少林寺拳法部
- ㉒ダンス部(小学生のみ) ㉓陸上競技部

- \*小学5・6年生と中学生が対象です。
- \*運動部は運動ができる服装でお越しください。(例:野球は長ズボン)授業後の着替え場所はあります。
- \*道具類=野球部は帽子・グローブ・スパイク・ユニフォームもあればご持参ください。
- 卓球・バスケットボール・バレーボール・ダンス・卓球はラケット、サッカーはスパイク、剣道は剣道用具等をお持ちでしたらご持参ください。
- 書道は道具一式・紙をご持参ください。
- \*屋外スポーツは雨天の場合実施できないことがあります。また、上記以外の部活動は都合により出来ません。

## 貸借対照表

平成31年3月31日

資産の部		負債の部	
科 目	本年度末	科 目	本年度末
固定資産	2,281,905,870	固定負債	554,051,642
有形固定資産	2,161,593,156	流動負債	217,123,419
特定資産	120,000,000	<b>負債の部合計</b>	771,175,061
その他の固定資産	312,714	<b>純資産の部</b>	
流動資産	86,955,891	科 目	本年度末
<b>資産の部合計</b>	2,368,861,761	基本金	3,466,647,206
		繰越収支差額	△ 1,868,960,506
		<b>純資産の部合計</b>	1,597,686,700
		<b>負債及び純資産の部合計</b>	2,368,861,761

## 平成30年度 収支決算

金光学園やつなみ保護者会

### I. 一般会計

収入の部 (単位: 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 会 費	5,499,840	5,491,700	8,140	月額 P@380、T@400
2 繰越金	1,024,446	1,024,446	0	
3 寄付金	20,000	20,000	0	大祭直会
4 雑収入	40,000	60,370	△ 20,370	預金利息、笠岡補導センター補助、他
合 計	6,584,286	6,596,516	△ 12,230	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 指導部費	605,000	421,450	183,550	
A 地区会費	400,000	218,450	181,550	24 地区
B 生活指導費	5,000	3,000	2,000	広域補導
C 通信連絡費	200,000	200,000	0	家庭連絡電話料
2 教養部費	3,545,000	3,094,488	450,512	
A 機関誌費	2,800,000	2,413,800	386,200	やつなみ251号～253号
B 教養費	745,000	680,688	64,312	
(1) 研修費	400,000	374,508	25,492	総会講演・研修旅行、他
(2) 教養費	255,000	216,180	38,820	教養シリーズ
(3) 講習会費	90,000	90,000	0	やつなみサークル補助
3 庶務部費	2,035,400	1,603,242	432,158	
A 負担金	430,000	346,470	83,530	私中高父母の会負担金、他
B 名簿刊行費	275,400	251,640	23,760	学園名簿
C 慶弔費	500,000	583,200	△ 83,200	被災家庭見舞、卒業式、弔慰、饗別、表彰祝
D 会議費	180,000	127,663	52,337	総会、評議員会、役員会、食堂試食
E 旅費	100,000	76,030	23,970	私中高P連総会、大祭湯茶接待、他
F 事務費	100,000	78,121	21,879	諸消耗品代等
G 特別委員会費	400,000	126,260	273,740	全国私中高父母の会等
H 雑費	50,000	13,858	36,142	標語パネル協賛金、振込手数料、他
4 予備費	398,886	0	398,886	
合 計	6,584,286	5,119,180	1,465,106	

### 1. 一般会計収支

収入総額	6,596,516
支出総額	5,119,180
差引剰余金	1,477,336

◎剰余金処分 一般会計剰余金1,477,336円は、次年度一般会計に繰り越す。

## 平成30年度決算の概要

学校法人金光学園

平成30年度の決算が、5月27日に開かれた法人評議員会ならびに理事会で承認されました。  
学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を示す「資金収支計算書」、経営状態を示す「事業活動収支計算書」、財産状態を示す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条及び学校法人会計基準第4号に定められた規則に基づき作成したものが、以下の「財務三表」です。

### 資金収支計算書

収入の部		支出の部	
科 目	決算額	科 目	決算額
学生生徒等納付金収入	521,276,375	人件費支出	872,130,783
手数料収入	4,796,900	教育研究経費支出	82,624,058
寄付金収入	43,445,848	管理経費支出	57,765,261
補助金収入	446,529,345	借入金等利息支出	3,054,240
付随事業・収益事業収入	1,054,419	借入金等返済支出	354,080,000
受取利息・配当金収入	563,523	施設関係支出	12,002,958
雑収入	70,693,488	設備関係支出	11,329,654
借入金等収入	280,000,000	資産運用支出	44,600,640
前受金収入	66,660,000	その他の支出	48,870,284
その他の収入	89,808,844	資金支出調整勘定	△ 6,470,116
資金収入調整勘定	△ 48,979,280	翌年度繰越支払資金	35,497,333
前年度繰越支払資金	39,635,633		
<b>収入の部合計</b>	1,515,485,095	<b>支出の部合計</b>	1,515,485,095

### 事業活動収支計算書

(単位: 円)

科 目		決算額	科 目		決算額
教育活動収入の部	事業活動収入の部	521,276,375	教育活動支出の部	人件費	854,411,074
	学生生徒等納付金	4,796,900		教育研究経費	158,112,694
	手数料	43,445,848		管理経費	62,890,949
	寄付金	443,155,345			
	經常費等補助金	1,054,419			
	付随事業収入	70,803,462			
雑収入	1,084,532,349	<b>教育活動支出計</b>	1,075,414,717		
<b>教育活動収入計</b>	1,084,532,349	<b>教育活動収支差額</b>	9,117,632		
教育活動外収入の部	事業活動外収入の部	563,523	教育活動外支出の部	借入金等利息	3,054,240
	受取利息・配当金	561,105		教育活動外支出計	158,112,694
	第3号基本金引当資産運用収入	2,418		教育活動外収支差額	△ 2,490,717
	その他の受取利息・配当金	563,523		教育活動外支出計	3,054,240
<b>教育活動外収入計</b>	563,523	<b>經常収支差額</b>	6,626,915		
特別収入の部	その他の特別収入	3,436,889	資産処分差額	1,257,351	
	<b>特別収入計</b>	3,436,889	<b>特別支出計</b>	1,257,351	
<b>特別収支差額</b>			2,179,538		
〔予備費〕					
基本金組入前当年度収支差額					8,806,453
基本金組入額合計					△ 48,904,514
<b>当年度収支差額</b>					△ 40,098,061
前年度繰越収支差額					△ 1,828,862,445
<b>翌年度繰越収支差額</b>					△ 1,868,960,506
(参考)					
<b>事業活動収入計</b>					1,088,532,761
<b>事業活動支出計</b>					1,079,726,308



支出の部

科 目	R1予算額	H30予算額	H30決算額	摘 要
1 指導部費	505,000	605,000	421,450	
A 地区会費	300,000	400,000	218,450	24地区
B 生活指導費	5,000	5,000	3,000	広域補導
C 通信連絡費	200,000	200,000	200,000	家庭連絡電話料
2 教養部費	3,695,000	3,545,000	3,094,488	
A 機関誌費	2,700,000	2,800,000	2,413,800	やつなみ254号～256号
B 教養費	995,000	745,000	680,688	
(1) 研修費	650,000	400,000	374,508	総会講演、研修旅行、他
(2) 教養費	255,000	255,000	216,180	教養シリーズ
(3) 講習会費	90,000	90,000	90,000	やつなみサークル補助
3 庶務部費	1,630,000	2,035,400	1,603,242	
A 負担金	400,000	430,000	346,470	私中高父母の会負担金、他
B 名簿刊行費	0	275,400	251,640	学園名簿
C 慶弔費	500,000	500,000	583,200	卒業式、弔慰、饗別
D 会議費	150,000	180,000	127,663	総会、評議員会、役員会、食堂試食
E 旅費	100,000	100,000	76,030	私中高P連総会、大祭湯茶接待、他
F 事務費	100,000	100,000	78,121	諸消耗品代等
G 特別委員会費	350,000	400,000	126,260	全国・中国地区私中高父母の会等
H 雑費	30,000	50,000	13,858	標語パネル協賛金、振込手数料、他
4 予備費	181,896	398,886	0	
合 計	6,011,896	6,584,286	5,119,180	

Ⅱ. 特別会計

収入の部 (単位：円)

科 目	R1予算額	H30予算額	H30決算額	摘 要
1 特別会費	8,396,640	8,064,960	8,056,900	月額 @680
2 繰越金	727,716	1,376,984	1,376,984	
3 雑収入	0	0	0	
合 計	9,124,356	9,441,944	9,433,884	

支出の部

科 目	R1予算額	H30予算額	H30決算額	摘 要
1 教育後援費	9,124,356	9,441,944	8,706,168	スポーツ振興センター共済掛金、生徒用コピー機、生徒会派遣費補助、事業積立金会計への積立等

《教育後援費の内訳》

①日本スポーツ振興センター共済掛金	1,120,000円
②高P連賠償責任補償制度加入掛金	440,000円
③私学ボランティア基金会費	12,000円
④私学ボランティア基金特別会費	10,000円
⑤高校図書室コインコピー機リース料8748*12	110,000円
⑥メールメイトシステム利用料（令和2年度分）	140,000円
⑦生徒会派遣費補助	6,000,000円
⑧事業積立金会計へ	1,000,000円
⑨予備費	292,356円
	9,124,356円

Ⅲ. 事業積立会計

収入の部 (単位：円)

科 目	R1予算額	H30予算額	H30決算額	摘 要
1 積立金	1,000,000	1,000,000	0	特別会計より
2 繰越金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
合 計	2,000,000	2,000,000	1,000,000	

Ⅱ. 特別会計

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 特別会費	8,064,960	8,056,900	8,060	月額 @620
2 繰越金	1,376,984	1,376,984	0	
3 雑収入	0	0	0	
合 計	9,441,944	9,433,884	8,060	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 教育後援費	9,441,944	8,706,168	735,776	スポーツ振興センター共済掛金、生徒用コピー機、生徒会派遣費補助等

《教育後援費の内訳》

①日本スポーツ振興センター共済掛金	1,114,190円
②高P連賠償責任補償制度加入掛金	433,600円
③私学ボランティア基金会費	12,000円
④私学ボランティア基金特別会費	10,000円
⑤高校図書室コインコピー機リース料	104,976円
⑥メールメイトシステム利用料(31年度分)	136,080円
⑦生徒会派遣費補助	6,895,322円
	8,706,168円

2. 特別会計収支

収入総額	9,433,884円
支出総額	8,706,168円
差引剰余金	727,716円

◎剰余金処分 特別会計剰余金727,716円は、次年度特別会計に繰り越す。

Ⅲ. 事業積立会計

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 積立金	1,000,000	0	1,000,000	教育後援費より
2 繰越金	1,000,000	1,000,000	0	
合 計	2,000,000	1,000,000	1,000,000	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 事業費	0	0	0	

3. 事業積立会計収支

収入総額	1,000,000円
支出総額	0円
差引剰余金	1,000,000円

◎剰余金処分 事業積立会計剰余金1,000,000円は、次年度事業積立会計に繰り越す。

令和元年度 予算

金光学園やつなみ保護者会

I. 一般会計

収入の部 (単位：円)

科 目	R1予算額	H30予算額	H30決算額	摘 要
1 会 費	4,474,560	5,499,840	5,491,700	月額 P@320、 T@400
2 繰越金	1,477,336	1,024,446	1,024,446	
3 寄付金	20,000	20,000	20,000	大祭直会
4 雑収入	40,000	40,000	60,370	預金利息、笠岡補導センター補助、他
合 計	6,011,896	6,584,286	6,596,516	

## 生徒会活動

### 《高校生徒会》

4月13日(土)、生徒会役員選挙が行われ、生徒会長に2年5組の笠原麻由さんが選出され、副会長に2年2組の山本楓夏さん、2年2組の片岡直希くんがそれぞれ選出された。4月19日(金)には、晴天の下、高校3年生、2年生の春季球技大会が開催された。ソフトボール、ドッジボール、フットサル、テニールの4種目でそれぞれ熱戦が繰り広げられ、3年2組、2年1組が総合優勝を果たした。5月24日(金)、第一回生徒会総会が行われた。今年度の基本方針や予算について審議され、すべて原案通りに承認された。運営は円滑に進み、舞台で発言した執行部、各種専門委員長、学年代表者会議議長らはいずれも堂々とした態度で発表を行った。その他、9月に開催されるほつま祭や体育会に向けて、各クラスや実行委員会等で着々と準備が始まっている。

### 《天文部》

中学1年生2人を新入部員を迎え、総

勢35人でのスタートを切った。新入部員を対象に望遠鏡の使い方講座を行った。また、ほつま祭の準備として、プラネタリウムの補修やポスター作成、学習会等を行ったりしている。

### 《茶道部》

4月28日(日)に後楽園で行われた、第74回茶祖栄西禅師賛仰献茶式・大茶会に参加した。80人程度が一度に入れるお茶席で、受付やお点前、水屋のお手伝いをさせてもらった。生徒は緊張しながらも日頃の練習の成果を発揮した。5月には4人の中1新入部員が加わり、熱心に活動している。

### 《書道部》

以下は昨年度の受賞歴のため、旧学年である。第167回県下小・中学校習字展覧会において、中2赤沢梨吏が岡山旭ライオンズクラブ賞を受賞。第36回ふれあい書道展において、中1山田紋歌が特選を受賞。第86回全国書画展覧会において、中2山田紋歌、中3赤沢梨吏が筆都大賞を、中2石井雄人、遠藤万結香が銀賞を受賞した。

第55回全国競書大会(創玄展)の結果学年優秀賞(中3赤沢梨吏) 全国競書大

会委員長賞(高2小寺彩巴・中2山田紋歌) 創玄書道会奨励賞(高3坂口小枝・高1大野未貴・中2遠藤万結香・中1寺川なのは) 推薦(中2石井雄人) 金賞(高1草加真希・中2佐藤心南・中2森山てんな)

### 《中学放送部》

3月に行われた中学ゆずり葉の会では、音響や司会を担当し、スムーズな会の運営に貢献した。4月に行われた新入生歓迎会でも同様に音響・司会を担当した。6月のNHK杯岡山県予選会では、朗読の部に中2の岡崎咲彩と坂本愛が、アナウンスの部では中2の西山花音と茂原凜が参加した。

### 《高校放送部》

高校生1年生2人を加え、現在10名で活動している。4月14日(日)、市民会館金光で開催された「第22回たんぼまつり」に参加し、司会・音響係として活躍した。さらに、6月9日(日)、山陽女子中学・高等学校を会場に、「第56回岡山県高等学校放送コンテスト兼第66回NHK杯全国高校放送コンテスト岡山県予選の決勝大会が開催され、朗読部門に高校2年生の阿部七菜子が出場した。

### 《美術部》

中学美術部は2年生4人、3年生2人の計6人で活動している。ほつま祭に向けて、切り絵と個人作品を制作した。

高校美術部は6月8日(土)、倉敷芸術科学大学で開催された高校生美術コンクールに、高1が7名、高3が3名参加。風景画部門で高1福武莉奈が金賞、山口祐紀、倉藤愛弓が銀賞を、静物デッサン部門で高3若狭李紗、河村南が銀賞を受賞した。ほつま祭ポスター原画に使用する作品の制作に部全体で取り組み、投票によって高2笠原麻由の作品を選んだ。

### 《文芸部》

新入部員2名を迎え、今年度の活動をスタートした。習作集を作成し、批評会を行うことで研鑽に励んだ。

### 《木綿崎ボランティア部》

高校2年生3人、高校3年生1人の新入部員を迎え、総勢9人でのスタートを切った。今学期は、毎年6月に福山市のイトーヨーカドーで開催される「絆:永遠にinふくやま」に参加し、ボランティアスタッフとして会場を盛り上げた。また、ほつま祭の販売に向けて、古着物をリメイクした小物づくりをスタートさせ

た。

### 《軽音楽部》

新たに9名が入部し、合わせて19名となった。ほつま祭での発表に向けて日々活動している。

### 《ラグビー部》

4月6日(日)、水島緑地福田公園サッカー・ラグビー場で行われた中国高等学校ラグビーフットボール大会岡山県予選会に高松農業、岡山朝日との合同Aチームで交流戦に参加した。合同B(岡山一宮、津山高専、津山工業、林野)に7-64で敗れた。4月28日(土)、水島緑地福田公園で備中支部総体7人制の部に参加した。人数不足のため、倉敷工業や玉島の選手と一緒に戦ったが、倉敷工業戦は0-35で敗れ、玉島戦は12-31で敗れた。5月3日(金)、4日(土)には美作ラグビー場で行われた強化練習会に参加し、数々の試合を通して技術・体力の向上に努めた。6月1日(土)〜2日(日)には岡山県総合体育大会ラグビーフットボール競技が、8日(土)には全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会岡山県予選が美作ラグビー場で開催された。県総体ではBブロックに岡山城

東と倉敷との合同チームで参加し、初日は合同A(岡山朝日・岡山一宮・津山高専)に7-28で敗れ、岡山工業に0-27で敗れた。2日目は高松農業に39-0で勝利し、津山工業に38-0で勝利し、Bブロック第3位となった。6月8日(土)に行われた7人制岡山県予選は前週の県総体で怪我をした選手がいたため、玉島高等学校から2名を加えたオープン参加となった。1回戦で岡山工業に19-17で勝利したが、オープン参加のため、1回戦敗退となった。

### 《高女子ソフトテニス部》

2年生4名、3年生3名の計7名で今年度の活動がスタートした。4月20日・21日に倉敷運動公園テニスコート及び福田公園テニスコートで行われた春季高校選手権《個人》に3ペア出場し、2回戦までに敗退。4月27日に笠岡総合スポーツ公園テニスコートで行われたインターハイ・中国大会備西地区予選《個人》に4ペアが出場したが、県大会出場権はなかった。4月30日に同会場で行われた備西地区総体(ソフトテニス競技《団体》)では、2回戦は岡山龍谷に勝利したが、準決勝では笠岡商業に敗れ3位と

なった。6月8日に浦安総合公園テニスコートで行われたインターハイ・中国大会岡山県予選《団体》では、1回戦で総社南に敗れた。この段階で3年生3名は引退し、新チームがスタート。6月22日に浦安総合公園テニスコートで行われた団体1次予選に1ペア出場したが、2回戦で敗退。

#### 《中学卓球部》

3月21日に笠岡市卓球選手権（団体の部）に参加した。男子団体ではAチームが倉敷第一Cに3―0で勝ち、D・ドリムBに1―3で敗れた。Bチームは倉敷北Bに3―2で勝ち、玉島西に0―3で敗れた。4月7日にチェリィカップ・テンプルテニスオープンに参加した。男子団体ではBチームがふれあいトーナメントで優勝した。4月30日に福山市中学生以下オープン卓球選手権大会に参加した。男子個人では1位トーナメントでベスト16に光田隆（L2）、白神（L1）が入った。女子個人で 大野（L2）が2位トーナメントでベスト4に入った。5月3、4日に岡山近府県卓球選手権に参加した。男子団体では予選リーグで上道に3―0で勝ち、ヴィスポことひらに

2―3で敗れ、2位トーナメント1回戦で京山に1―3で敗れた。6月8日に備西支部シード決め大会に出場した。男子個人では白神が2位、光田舜（L2）、光田隆がベスト8、荒島（L3）と山本（L2）がベスト16に入り、シード権を獲得した。女子個人では大野がベスト16に入り、シード権を獲得した。

#### 《高校卓球部》

3月10日に山陽新聞社杯（一般の部）に参加した。山本（U2）が予選2位であった。3月21日に笠岡市卓球選手権大会（団体の部）に参加した。男子団体では予選で敗退した。4月7日にチェリィカップ・テンプルテニスオープンに参加した。男子団体では予選1位で決勝トーナメントに進出し、1回戦ではらの町卓球場Aに1―3で敗れた。4月28日に岡山県近府県卓球選手権大会（一般の部）に参加した。山本が1回戦で敗退した。5月1、2日に岡山県高等学校総合体育大会に出場した。男子シングルスでは山本がベスト128に入った。男子ダブルスでは瀬良優（U3）・佐能（U2）組がベスト64に入った。6月1日に岡山県高等学校総合体育大会卓球競技（団体の部）

に出場した。1回戦で岡山理大付属に3―1で勝ち、2回戦で津山高専に2―3で敗れた。

#### 《高校サッカー部》

3月17日・18日に、第9回浅口カップ大会に参加し、運営も行った。東は福井、西は鹿児島から、計70チーム以上の参加があった。対明王台（1―2）、対高水A（1―2）、対高水B（3―2）、京都廣学館（3―1）、高知西B（1―3）。3月27日に練習試合を行った。対津山東（3―2）、対林野（2―5）。4月7日に練習試合を行った。対玉島商業（1―1）、対高梁（1―0）。4月29日、県総体備中地区予選で玉島高校と対戦し、（0―2）。5月2日、興国高校と練習試合を行った。30分×4本で（1―3）。5月11日・12日に行われた備中支部総体備西大会では、一次リーグで、対玉島商業（2―2）、対矢掛（1―0）。1位トーナメントで、対笠岡（0―3）、対龍谷（0―1）。

#### 《中高剣道部》

中高剣道部前年度分（段級審査会）平成30年8月5日（日）玉島武道館で開催され、新谷理駆（当時高校1年）が三段

に、田中康介（当時中学2年）が二段に合格。平成31年3月17日（日）福山市体育室②で開催され、小林芳樹（当時中学2年）が二段に合格。3月24日（日）総社武道館で開催され、新谷莉子（当時中学1年）が初段に合格。

#### 《高剣道部》

《国体予選会》4月14日（日）、ジッブアリーナ岡山で開催され、亀山裕汰（2年）が1回戦、新谷理駆（2年）が2回戦敗退であった。（中国大会予選会）4月20日（土）～21日（日）笠岡総合体育館で開催され、亀山、新谷共に2回戦敗退であった。（県高校総体）6月1日（土）～2日（日）、笠岡総合体育館で開催され、市川真広（3年）は骨折のため棄権。新谷は1回戦敗退であった。（段級審査会）6月9日（日）児島武道館で開催され、渡邊文奈（1年）が1級に合格。

#### 《高校男子バスケットボール部》

4月20・21日に行われた春季優勝大会備中地区予選会に参加した。1回戦倉敷青陵高校に37―72、2回戦玉島高校に58―60で勝ち、ブロック決勝で倉敷天城高校に55―58で勝ち県大会出場を決めた。4月27日に行われた第72回岡山県高等学

校バスケットボール春季優勝大会に参加した。1回戦倉敷工業高校と対戦し、83―56で敗退した。5月12日に行われた県総体備中地区予選会に参加した。前大会の結果からシードで参加し、ブロック決勝で倉敷鷺羽高校に58―79で勝ち、県大会出場を決めた。6月9日に行われた第58回岡山県高等学校総合体育大会バスケットボールの部において、1回戦関西高校と対戦し104―52で敗退した。3年生が今大会で現役引退となったが、ジッブアリーナで試合ができた良い締めくくりとなった。保護者活動として6月22日に卒部会兼保護者会総会を開催した。

#### 《少林寺拳法部》

3月23～25日に香川県において開催された全国高校選抜大会に出場した。女子規定単独演武の部に原田麻未（U2）、高橋南成子（U2）が、女子自由組演武の部に塩谷明美（U2）、難波朋楓（U2）が、女子団体演武の部に米村・塚本・塩谷・難波・能勢・高橋・原田が出場したが、いずれも予選敗退に終わった。6月1日に東岡山工業高校で岡山県総体が行われ、男子単独演武の部で坂本莉来（U2）が第3位に、女子単独演武の部で米

村咲南（U3）が第3位に、女子組演武の部で塩谷明美（U2）、難波朋楓（U2）が第1位に、虫明紗桜理（U1）・難波日奈子（U1）が第2位に、女子団体演武の部（米村・塩谷・難波朋・能勢・高橋・虫明・難波日・原田）が第1位に入賞した。6月2日に倉敷武道館で岡山県中学生大会が行われ、男子単独演武の部で友田隼咲（L3）が第2位に、田淵春成（L3）が第3位に、甲田大礎（L2）が第4位に、原田大地（L2）が第6位に、女子単独演武の部で堤万菜（L3）が第8位に入賞した。

#### 《花道同好会》

毎週水曜日に宗教教室で兼信先生の指導の下、熱心に稽古した。

#### 《家庭科同好会》

新入部員1名。計3名の部員で、ほつま祭展示に向け、衣装製作などの活動を行なっている。

#### 《かるた同好会》

週2～3回、宗教教室で競技かるたの練習を行った。1カ月に1度の割合で、岡山県かるた協会長の長原先生に指導を受けて頂いた。4月21日（日）にノートルダム清心女子高等学校にて、第43回全国

高等学校総合文化祭「小倉百人一首かるた部門」岡山県代表選考会が開催され、高2の橋本花穂・土橋果歩・藤井みなみの3名が出場した。3人とも全敗であった。5月26日(日)に早島町コミュニティハウスいぶき荘の和室にて、第41回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会団体戦岡山県予選が開催され、高2の橋本花穂・川上裕加・土橋果歩・藤井みなみ・阿部七菜子の5名が出場した。1回戦で玉野光南Aチームと対戦して敗退した。その後、交流試合を2試合行い、経験を積んだ。

## 学園だより

**イギリス短期語学研修・オーストラリア姉妹校交流プログラム** 3月17日(27日、第3回オーストラリア姉妹校交流プログラムが、3月17日(4月2日、第8回イギリス語学研修が実施された。両コースともに海外ならではの異文化交流を経験し、無事に帰国した。4月5日には本部参拝を行った。

**出校日・大祭奉仕** 4月5日、在校生は出校し、新クラス発表の後、教室移動を行った。中2は金光教本部に集合し、大祭奉仕を行った。

**入学式** 4月8日、中学は午前中に、高校は午後からほつま体育館で行い、それぞれ141名、200名の新入生が希望に胸を膨らませて入学した。

**始業式** 4月9日、中高合同で1学期始業式がほつま体育館で行われた。新任教員紹介の後、校長式辞、在校生を代表して高3の土屋健太郎くんから歓迎の言

葉、また新入生を代表して中1の丸本芽生さんから挨拶がそれぞれあった。

◇**新入生代表挨拶**(中1 丸本 芽生)  
暖かな春の訪れとともに。私たち中学校141名、高等学校200名は、金光学園の生徒として、新たな仲間とともに、新しい一歩を踏み出します。これから始まる学園生活は、今までとは違い、何事も「自身」で考え行動する機会が多くなると思います。そうした中で、ともに成長し助け合い、悩み、立ち止まってしまった時は、力を合わせて乗り越えていこうと思います。校長先生を始め、先生・先輩方には、そんな私たちを温かく、そして時に厳しく、ご指導してくださいませう、お願いします。私たち新入生一同は、歴史と伝統あるこの金光学園の生徒としての誇りを持ち、

「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」この言葉を胸に、実りある学園生活を送っていきたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いします。

**新入生本部参拝** 4月11日、晴天に恵まれ中1と高1が金光教本部に参拝し、これからの学園生活の立ち行きをお願いした。その後、境内でクラス毎の記念写

真を撮った。

◇**お届け**(高1 吉田 みのり)  
4月8日に中学校新入生141名、高等学校新入生200名、合計341名は多くの方々の祝福を受け、金光学園に無事入学させて頂くことができました。どうぞ皆様にお礼を申し上げて下さい。私たちは自らの意志で、勉強やスポーツに励むことを目的として金光学園に進学しました。それぞれの夢を実現させるために精進し、一日一日を大切にすごして、充実した学園生活を送れるようにすることを誓います。この先、大きな壁にぶつかることもありますが、学園の合言葉「人を



たいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」を心にとどめ、先生方、家族、友人など多くの人に支えて頂きながら、乗り越えていきたいと願っています。また、中1は4月19、20日に校内で入校時合宿を行い、高1は4月24日に親睦行事を行います。全員が高い志を掲げ、安心・安全に過ごせるよう、どうぞよろしくお願います。

#### ◆教主金光様のおこぼ

皆さん、おめでとうございます。今日も明日もあさっても、皆、今月今日になります。どうぞ、お世話になるすべてに礼をいう心をもって、今を大切に、今申されました願いに沿って勉強を進められ、おかげを頂かれますよう、祈ってやみません。

**なんでも相談室** 毎週水曜日は午前10時から午後5時まで第1相談室で開設され、学校カウンセラーがカウンセリング・助言・支援を行っている。

**街頭交通指導** 4月5日から16日まで教員が通学路に立ち、交通安全・交通マナーについての指導を行った。

**検尿** 4月11・12日に検尿を実施した。  
**沖縄修学旅行** 4月16～19日、中3は

沖縄を訪れた。金光教那覇教会の林先生の講話や平和集会、折り鶴献納などを通じて平和について考えると同時に沖縄の歴史や自然についても学習した。定例となった民泊は、今年も大変好評であった。  
**進路講演** 4月19日、高1はベネッセコーポレーションの櫻井優一氏による「希望進路実現のために」変わってゆく大学入試に対して今から意識してほしいこと」と題した講演を聴き、高校生としての学習の仕方、日々の過ごし方について学んだ。

**入校時合宿** 4月19・20日、中1が入校時合宿を行い、校内に宿泊した。学園歌コンクール、町内オリエンテーリングや集団ゲーム・夜スタなどを通じ、親睦を深め、集団生活の規律を学んだ。

**心電図** 4月22日に中1、高1を対象に実施した。高1は胸部X線撮影も行った。  
**親睦行事** 4月24日、高1はタイズ大会、フリスビードッジを通じて互いの親睦を深めた。

**総合健康診断** 中学は4月24日に、高校は25日に、身体測定と内科・歯科・視力・聴力(3年)の検診が行われた。  
**人権教育** 中1は4月26日に、いじめ・

携帯トラブルについてのDVDを視聴し、感想を書いた。5月31日には、その結果を通信にまとめたものを元にして、今何ができるかをクラスで話し合い、「わたしの行動宣言」を作成した。

**やつなみ保護者会総会** 4月27日、1限に授業参観、2限に学級会、3・4限に総会と講演が行われた。講演は陰山ラボ代表・一般財団法人基礎力財団理事長、陰山英男先生の「常識を破って子どもを伸ばそう」であった。

**人権講演** 5月8日、高3はNPO法人ヒカリカナタ基金理事長の竹内昌彦先生による講演「私の歩んだ道」見えないから見えたもの」を聴き、笑いあり涙ありのお話の中から今後の人生への示唆を受けた。

**性教育** 中3は5月8日と6月4日に、男女交際や性感染症・避妊について学習した。また、中2は6月13日に、かみむらウイメンズクリニック 上村茂仁先生の講演「ラバハラにならないために」を保護者と共に聴いた。また、6月21日に、「セックス」「性感染症」についてのDVDを視聴し、感想文を書いた。高2は7月10日に、公設国際貢献大学校 助

産師 内尾京子先生の「責任ある性」と題した講演を聴いた。

**避難訓練** 5月9日、全生徒・教職員を対象に避難訓練を行った。

**教育相談保護者の会** 5月18日、安原こずえ先生を講師に迎え「思春期の心に近づくために」という演題で話をうかがい、教職員・保護者との交流が行われた。  
**教育実習** 5月20日から6月15日までの期間、卒業生8名が2週間ないし3週間の実習を行った。

**山の学習** 5月21～23日、中2は第52回山の学習(大山登山・キャンプ)を行った。1日目は晴天の下、大山登山を行い、美しい景色を堪能した。2日日も天候に恵まれ、テントを設営し、バーベキューを行った。夜にはキャンプファイヤーを実施している。3日目は8つのグループに分かれて野外活動を体験。初夏の大自然を満喫した。

**芸術鑑賞** 5月28日、Percussion Performance Playersによる「Percussion Performance Playersのたのしい芸術鑑賞会」を開催した。卓越した演奏と魅せるパフォーマンスに引き込まれ、楽しく有意義なひとときを過ごすことができた。

**教科担当者会議** 中学校において、日頃の授業の様子や中間テストの結果についての情報が交換され、個々のすぐれた点や改めたい点が指摘、検討された。  
**高3読書会** 5月31日、それぞれが希望した本毎にグループに分かれ、お互いの意見を交換した。

**塾対象学校説明会** 6月5日、塾の先生を対象に学校説明会を行い、金光学園の学習や行事、部活動などについての現状を詳しく説明した。また、午前中には全学年の授業を公開した。

**耳鼻科検診** 6月6日に中1、7日に高1を対象に実施した。

**眼科検診** 6月6日に中1と中3、7日に高1と高3を対象に実施した。

**中3進路学習** 6月15日に進路課長の室相裕一教諭から進路についての話を聴いた。

**高2修学旅行** 6月10日～14日に3コースに分かれて実施した。シンガポール・マレーシアコースは現地学生との交流やホームステイを体験した。オーストラリアコースは南半球のクイーンズランド州のアサートンでファームステイなどを体験した。北海道コースは北の大地の

自然や文化・歴史にふれた。(紀行文は次号に掲載)

**学校説明会** 6月22日、金光学園の受験希望者と保護者を対象とした学校説明会を行い、午前中に全学年の授業を公開した。

**進路委員会** 7月1日・2日、高3学年団は学力の現状分析と今後の指導方針を検討した。  
**高3 1学期終業式** 7月17日、3年生は大講義室で1学期終業式を行った。

**お慶び** 塚田佳恵先生には、4月24日に長女がご誕生、お慶び申し上げます。

**お悔やみ** 服部和人先生の御母堂には3月26日に、藤澤奈美恵先生の御尊父には4月4日に、旧職員の福場徳正氏には4月8日に、山本幸子先生の御祖母には5月24日に、中村文音先生の御祖父には6月30日にご逝去、謹んでお悔やみ申し上げます。

# 教室の窓から

4月23日、ほつま体育館で新入生歓迎会が行われました。約2週間前に、金光学園中学校に入学したばかりの中学一年生。すでに始業式や入校時合宿など様々な行事を忙しくも元気に経験してきました。受け身の行事が続いた中で、新入生歓迎会は初めて先輩方に出し物を披露する行事です。実行委員の皆さんは歓迎会の1週間前から放課後残って、掛け声の練習や段ボールで製作を行い、準備をしてきました。

さて、行事が多く詰まっていたため、一年生の全体練習は歓迎会前の1時間のみです。練習が始まると、実行委員のきりっとした大きな声。聞いて思わず驚きました。掛け声のセリフは多くありましたが、実行委員の皆さんは暗記するほど練習をしたようでした。この2週間、小学校の時よりも多くの同級生と共に行動することに、多くの生徒はドキドキしながら緊張したように見えました。それでも日々遅く成長しているみんなに期待し、全体の発声を聞くところ……ここによこによこによ。戸惑いがあったようですが、元気がなく、タイミングが揃わない全体の動きに、不安が出てきました。それでも、みんなの持っている力を信じて、時間いっぱい練習。疲れも見えてきましたが、実行委員長の小

野君は「みんなが声を出してくれればうまい」と思っ」と信じて練習を終えました。

本番前に、三年生が一年生にクラスカラーの花をつけるお手伝いをしてくれました。先輩との交流は、意外にも和やかな雰囲気で見られ、息の合った二年生の素晴らしい歌声や、修学旅行から帰ったばかりなのに面白く盛り上げてくれた三年生の出し物に続いて行われました。いよいよ一年生の番です。先輩方への「これからよろしくお願します」の気持ちを込めて、大きな声で掛け声を行うことができました。全員の声を揃えようとするとみんなの気持ちを感じました。先輩方に恥ずかしくない出し物をすることができました。緊張の表情でしたが、その後の部活動紹介では、一変してほっとした顔になっていました。先輩方からの楽しい部活動紹介に、一年生も大笑い。入りたい部ができた人がたくさんいたようでした。花のアーチを通して退場するとき、みんな清々しくいい顔をしていたのが印象的でした。教室に戻ると「はあ」とため息、そして笑顔で談笑していました。

これから、ほつま祭や体育祭など自ら考えて行動する場面の多い行事が待っていますが、一日の学校生活を通してステップアップし、多くの行事で達成感と共に成長して欲しいと応援しています。

## 編集後記

5月に「Percussion Performance Playersのための芸術鑑賞会」と題した演奏会を開催した。その模様は今号に掲載した生徒の感想文に譲るとして、ここではPPPの知られざる一面に触れたい。リハーサルの際、メンバーは車と体育館を何度も往復しながら機材を運び入れた。準備が終わって舞台上立つ彼らを横目に、ふと入り口を見た時の驚きを鮮明に覚えている。全員の靴が上がり框に踵をびたりと付けて、きれいに揃えられていたのである。

本番でも似たようなことがあった。2ステージの合間の休憩は20分少々。楽屋に移動して昼食を取るの精一杯だろう。そう考えて、片付けは必要ない旨を伝えていた。それなのに、部屋は使った形跡もないほどに整えられ、机の端にビニール袋にまとめられたゴミが一つ乗っっているだけだった。

このような姿勢こそが大切なのだと思う。PPPの面々とは大学の先輩後輩にあたるという某教員に話すと、「そういう教育を受けていますから、僕ら」と得意気に笑った。

令和元年7月10日印刷  
7月17日発行

編集者

金光学園やつなみ保護者会  
やつなみ編集部

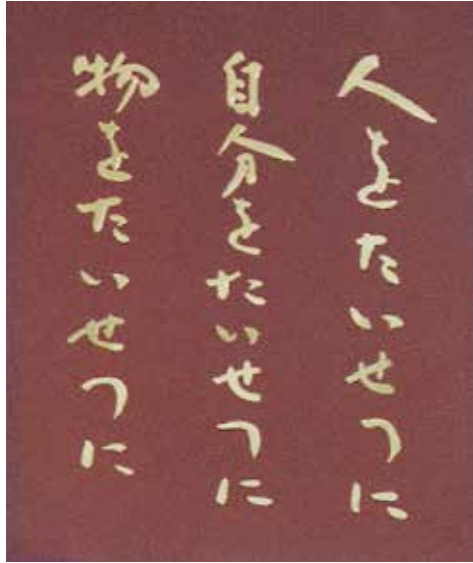
印刷所

倉敷市船穂町船穂二〇九五一―一  
玉島活版所

発行所

浅口市金光町占見新田一三五〇  
金光学園内  
金光学園やつなみ保護者会





◎ほつま = 秀真

非常に優れ整い備わっていることの意。

「日本という国」の古異名の一つ。

創立後、生徒会や冊子の名に使用。

ほつま体育館、ほつま祭などで使われる。

.....  
◎やつなみ = 八波

どこまでもひろがり栄えゆく願いをこめる。

金光教・学園・中学・高校の徽章のふちどり。

P T A機関誌創刊当時、会員から公募してつけた。

人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに

<http://www.konkougakuen.net>

E-mail [info@konkougakuen.net](mailto:info@konkougakuen.net)